

平成29年度  
敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書

敦 賀 市 教 育 委 員 会

— 目 次 —

はじめに	1
敦賀市教育大綱（概要版）	2
総合計画数値目標との比較	3
＜各課（まとめ）＞	
教育総務課	4
学校教育課	1 1
○給食センター	1 2
生涯学習課	2 6
○図書館	3 0
○プラザ萬象	3 3
○少年愛護センター	3 4
○少年自然の家	3 6
文化振興課	4 7
○市民文化センター	4 9
○博物館	5 0
○みなとつるが山車会館	5 1
スポーツ振興課	5 9
○総合運動公園	6 0
国体推進課	7 1
外部の知見	
○東洋大学経済学部 井上武史	7 3
○福井県立大学学術教養センター 黒田祐二	7 9
(巻末)	
敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価（マニュアル）	8 3

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成 20 年度から教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、自己点検・評価を実施するよう規定され、本市教育委員会においても、事務局の各部署の事務について実施しております。

このたび平成 29 年度分の自己点検・評価の報告書を作成いたしました。評価方法は、各部署において執行している事務について、予算の項目ごとに評価しました。従って、報告の形式は、各部署の管理し執行する事務、中でも注視すべき事務を評価項目に加え「事業名」とし、管理執行した事務は「取組み状況と成果」に記載し、これに基づき「成果の分析と評価」をいたしました。

評価は、「有効性」、「効果性」、「効率性」をそれぞれ、アルファベットの A「前進」、B「維持」、C「後退」の三段階で表わしました。

「今後の方向」は①継続、②完了、③拡大、④縮小、⑤転換、⑥中止の 6 項目で表しました。

「分類」は、教育委員会が執行する事務がどのように法令等に基づいているかを分類したものです。

自己点検・評価に際しては、外部の知見を活用するため、事業ごとに評価調書を作成のうえ、行政の事務事業評価に見識をお持ちの東洋大学経済学部 井上武史先生、学校評価に見識をお持ちの福井県立大学学術教養センター 黒田祐二先生のお二人にご意見をいただきました。

また、第 6 次総合計画 後期基本計画の数値目標については、その達成状況と分析に努め、人事・組織の見直し、予算の計上・削減、事務の改善・廃止等に活かしていきたいと考えております。



# 敦賀市教育大綱（概要版）

－教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策－

**教育目標** ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

## 基本理念

「白砂青松」の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、「人道の港」敦賀ならではの魅力ある教育を推進する。



ふるさと敦賀の花「はぎ」

## 基本方針

### (1) 学校教育の充実

- 施策 ① 学びの芽生えを育む幼児教育の推進
- 施策 ② 自ら考え、行動する力を身に付ける教育の推進
- 施策 ③ 社会のグローバル化に対応できる外国語教育の推進
- 施策 ④ 個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進
- 施策 ⑤ 健やかな体の育成を目指した健康・安全教育の推進
- 施策 ⑥ いじめや不登校を予防し、防止する生徒指導体制の推進
- 施策 ⑦ 児童・生徒数や社会の変化に対応した学校の整備
- 施策 ⑧ 社会の変化に応じた教育活動を行うための教職員の資質及び指導力の向上



ふるさと敦賀の木「まつ」



ふるさと敦賀の鳥「ユリカモメ」

### (2) 社会教育の充実と活性化

- 施策 ⑨ 活力ある地域社会の形成
- 施策 ⑩ 社会的な課題に対応する生涯学習の推進
- 施策 ⑪ 社会教育施設の整備・充実
- 施策 ⑫ 地域等と連携した青少年の健全育成

### (3) 文化の振興・支援

- 施策 ⑬ 文化意識の向上
- 施策 ⑭ 市民文化の活動拠点の整備・充実
- 施策 ⑮ 文化財の保護・支援
- 施策 ⑯ 文化財の活用の推進

### (4) スポーツの振興及び推進

- 施策 ⑰ 国体開催を契機としたスポーツの振興
- 施策 ⑱ 生きがいと健康づくりとしてのスポーツの振興
- 施策 ⑲ 人のつながりを再生するスポーツ交流の推進
- 施策 ⑳ スポーツ施設の整備



敦賀市公認キャラクター「よっしー」

第6次総合計画 後期基本計画の数値目標との比較

第5章 心豊かな人を育むまちづくり

基本計画		実施計画			
名称	基本的な方向性	名称	成果指標		
			内容	29年度末数値	目標年度(32)
第1節 人材育成の充実	(1)幼稚園教育の充実	公立幼稚園改善計画	幼稚園児数	87	120人
	(2)義務教育の充実	小中学校施設充実化計画	快適かつ安心安全な学習環境の実現	—	実現
		教賀市「知・徳・体」充実計画	角鹿中学校を中心とする小中一貫校の設立	—	事業着手
		次世代学校給食あり方検討計画	学校給食センターの在り方に関する方針	あり方検討委員会2回実施	事業着手
(4)青少年の健全育成	青少年健全育成計画	愛の一声運動の人数	1,461人	1,400人	
第2節 社会教育の活性化	(1)多機能性を活かした地域づくり拠点の形成	生涯学習推進計画	公民館活動への参加者数	57,149人	70,000人
		生涯学習施設維持管理計画	生涯学習施設の利用者数	126,345人	130,000人
	(2)集客性を活かしたまちづくりの拠点の形成	図書館利用促進計画	図書館利用者数	200,966人	230,000人
	(3)文化・芸術の振興と文化財等の保護及び活用	文化活動推進計画	文化行事参加者数	22,132人	33,800人
		文化財整備活用計画	指定・登録文化財数	211件	209件
		博物館郷土文化力向上計画	見学者アンケートの満足度(%)	90.45%	90
		文化活動拠点維持管理計画	山車会館利用者数	8,053人	19,300人
	第3節 スポーツの振興	(1)福井しあわせ元気国体における教賀市開催方針の実現	福井しあわせ元気国体推進計画	国体の開催	—
(2)福井しあわせ元気国体後のフォローアップの展開		競技レベル向上推進計画	各事業の参加者数	2,375人	4,200人
		コミュニティスポーツ推進計画	各事業の参加者数	4,281人	5,500人
(3)健康づくりとしてのスポーツの振興		生涯スポーツ推進計画	各事業の参加者数	3,302人	7,750人
(4)スポーツ施設の整備		スポーツ施設維持管理計画	地区体育館等のスポーツ施設の総利用者数	349,821人	440,000人

## 教育総務課 自己点検・評価報告書（まとめ）

これまで、小中学校に関する事務は全て教育政策課が担ってきましたが、平成29年4月に、全市的な小中一貫教育の推進を行うとともに、角鹿中学校区での小中一貫校の設置に向けた推進体制を強化するため、これまでの教育政策課に代わり、学校の設置、管理等を担う「教育総務課」と教育課程の編成や管理を担う「学校教育課」の二つの課が設置されました。

### 教育委員会の運営について

教育委員会は毎月開催し、議案の審議や各事業の方針を決定しています。

教育委員会や行事等への参加を推進することができ、報告事項・審議事項を滞りなく決議できました。「敦賀市教育振興基本計画」の進捗管理や各教育分野の諸課題について、議題が発生した時点で議題とし、委員の意見を反映し、より良い教育行政の推進に努めることができました。

### 教育委員会事務局職員の人事について

教育委員会事務局には、学校勤務の調理員・用務員等また臨時・パートを含めて322名の職員が勤務しています。欠員が生じた場合には迅速かつ適切に対応して、業務に支障がないように努めました。また、特別休暇等の各種届出書を遅滞なく提出してもらうことにより、円滑な事務運営を図りました。

### 角鹿中学校区小中一貫校設置準備委員会及び小中一貫校整備事業について

角鹿中学校及び敦賀北・赤崎・咸新小学校を統合した小中一貫校の設置に向けて、統合の実現に必要な課題の解決や準備事項についての検討を行う委員会を開催しました。

29年度は、設置準備委員会を2回開催し、そのワーキンググループとして総務部会を4回、施設整備部会を8回開催しました。

総務部会においては学校名称を公募し、「角鹿小中学校」に決定しました。また、施設整備部会においては対象4校の教職員をはじめ、学識経験者、各PTA、各区の代表者に参加いただき、それぞれの立場の意見を反映させた、基本計画及び基本設計を策定しました。

30年度はこれを受けて、より詳細な実施設計の作成に取り組むとともに、校歌、校章、制服、体操服等の協議を進めます。

### 学校施設の整備、管理運営及び備品等の購入について

学校施設の整備や管理運営、備品等の購入につきましては、限られた予算を有効かつ平等に執行する必要があります。そのため、各学校に予算を配分し、その範囲内で物品購入や修繕を実施し、また配分で対応できないものに関しては、各学校との綿密な連携により学校全体の優先順位をつけて実施する方法をとっています。

今後も、学校の要求に合わせられるよう努めます。

## 教育総務課

### 【教育総務課の事務分掌】

- (1) 教育委員会の会議に関する事
- (2) 公印の保管に関する事
- (3) 事務局、学校その他教育機関の職員(県費負担教職員を除く。)の人事に関する事
- (4) 職員の身分・服務及び給与の負担行為に関する事
- (5) 学校の設置・管理及び改廃に関する事
- (6) 学校教育の用に供する財産の管理に関する事
- (7) 学校の施設及び設備(備品を含む。)の整備に関する事
- (8) 教育委員会の所轄に属する財産(教育財産を除く。)の管理に関する事
- (9) 教育目的のための基本財産及び積立金の管理に関する事
- (10) 教育委員会規則の制定又は改廃に関する事
- (11) 教育財政に係る調査及び統計に関する事
- (12) 事務局内の取締り及び庁内管理に関する事
- (13) 文書の收受、浄書・発送及び保管に関する事
- (14) 市長・市議会及び市の各課(室)との連絡に関する事
- (15) 県教育委員会その他の教育委員会及び事務局各課(室)との連絡調整に関する事
- (16) 職員の研修及び福利・厚生に関する事
- (17) 教育行政に関する相談に関する事
- (18) 前各号のほか他課に属しない事項

### 【教育委員の氏名】

教育長	上野 弘
教育長職務代理者	神谷 敬一郎
委員	岸本 松則
委員	中宮 智子
委員	堺 啓輔

### 【自己点検・評価】

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
教育委員会の開催	<p>平成29年4月から平成30年3月までに12回の教育委員会を開催し、次の事項について審議しました。</p> <p>○平成29年第4回教育委員会(4月5日)</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回教育委員会議事録の件</li> <li>・共催、後援事業15件</li> </ul> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市子どものための教育・保育に係る利用者負担額等に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定の件</li> <li>・全国市長会学校災害賠償補償保険に関する学校災害補償規則制定の件</li> </ul>	<p>議案はすべて順調に審議され、委員会の運営の効率化を図ることができました。</p> <p>また、平成28年3月に策定された敦賀市教育大綱を受け、平成28年9月に「敦賀市教育振興基本計画」を策定し、同計画の進捗状況等について確認をしました。</p>	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">有効性</td> <td style="padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効果性</td> <td style="padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (コスト)</td> <td style="padding: 2px;">B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (人員)</td> <td style="padding: 2px;">B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-1
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市指定文化財の指定の件</li> <li>・平成29年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択嶺南地区協議会の設置の件</li> <li>・国体の強化指定選手の練習会等に係る施設使用料等の減免についての件</li> <li>○第5回教育委員会（4月26日）</li> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件1件</li> <li>・共催、後援事業17件</li> </ul> </li> <li>審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市社会委員補欠委員委嘱の件</li> <li>・敦賀市立図書館会館時間の変更の件</li> <li>・敦賀市文化財保護審議会委員委嘱の件</li> <li>・柴田氏庭園保全整備委員会委員委嘱の件</li> <li>・敦賀市立博物館協議会委員並びに敦賀市立博物館調査研究員委嘱の件</li> <li>・敦賀市スポーツ振興審議会委員任命の件</li> <li>・平成29年度敦賀市教育支援委員会委員委嘱の件</li> <li>・平成29年度学校評議員委員委嘱の件</li> <li>・角鹿中学校区小中一貫校の設置の件</li> </ul> </li> <li>○第6回教育委員会（6月2日）</li> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回教育委員会議事録の件</li> <li>・後援、共催事業18件</li> <li>・平成29年6月補正予算の件</li> </ul> </li> <li>審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市立少年自然の家運営協議会委員委嘱の件</li> <li>・敦賀市立図書館運営規則の一部改正の件</li> <li>・敦賀市公民館運営審議会補欠委員委嘱の件</li> <li>・平成28・29年度敦賀市少年愛護センター運営委員会委員変更委嘱の件</li> </ul> </li> <li>○第7回教育委員会（7月7日）</li> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件2件</li> <li>・共催、後援事業18件</li> </ul> </li> <li>審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> </li> <li>○第8回教育委員会（8月4日）</li> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件1件</li> <li>・共催、後援事業9件</li> </ul> </li> <li>審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度使用小学校教科用図書の採択決議の件</li> </ul> </li> <li>○第9回教育委員会（9月1日）</li> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件1件</li> <li>・共催、後援事業8件</li> <li>・平成29年9月補正予算の件</li> </ul> </li> <li>審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市立図書館協議会委員委嘱の件</li> <li>・敦賀市いじめ防止基本方針の一部改正の件</li> </ul> </li> <li>○第10回敦賀市教育委員会（10月6日）</li> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件2件</li> </ul> </li> </ul>				
--	--	--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共催、後援事業 11 件</li> <li>審議事項</li> <li>・教育委員会表彰規程に基づく被表彰者選考の件</li> <li>○第 11 回敦賀市教育委員会（10 月 31 日）</li> <li>報告事項</li> <li>・第 10 回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件 1 件</li> <li>・共催、後援事業 9 件</li> <li>審議事項</li> <li>なし</li> <li>○第 12 回敦賀市教育委員会（11 月 27 日）</li> <li>報告事項</li> <li>・第 11 回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件 2 件</li> <li>・共催、後援事業 12 件</li> <li>・平成 29 年度 12 月補正予算の件</li> <li>審議事項</li> <li>・名勝 おくのほそ道の風景地けいの明神（氣比神宮境内）保存活用計画策定準備委員会委員委嘱の件</li> <li>○平成 30 年第 1 回敦賀市教育委員会（1 月 10 日）</li> <li>報告事項</li> <li>・第 12 回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件 1 件</li> <li>・共催、後援事業 7 件</li> <li>○第 2 回敦賀市教育委員会（2 月 7 日）</li> <li>報告事項</li> <li>・第 1 回教育委員会議事録の件</li> <li>・寄附採納の件 1 件</li> <li>・共催、後援事業 3 件</li> <li>審議事項</li> <li>なし</li> <li>○第 3 回敦賀市教育委員会（2 月 21 日）</li> <li>報告事項</li> <li>・第 2 回教育委員会議事録の件</li> <li>・共催、後援事業 14 件</li> <li>・平成 29 年度 3 月補正予算・平成 30 年度当初予算の件</li> <li>審議事項</li> <li>・平成 30 年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択嶺南地区協議会の設置の件</li> <li>・敦賀市公民館民間館長任用の件</li> <li>・敦賀市少年愛護センター補導員 解任の件</li> <li>・敦賀市民文化センター設置及び管理に関する条例施行規則の全部を改正する規則制定の件</li> </ul>												
<p>専門委員等の委嘱及び任命等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名勝 おくのほそ道の風景地けいの明神（氣比神宮境内）保存活用計画策定準備委員会委員 8 名委嘱 任期：平成 29 年 12 月 1 日～ 名勝「けいの明神」保存活用計画策定準備委員会の設置の日</li> <li>・敦賀市社会教育委員補欠委員 1 名委嘱 任期：平成 29 年 4 月 26 日～ 平成 30 年 5 月 31 日</li> <li>・敦賀市文化財保護審議会 9 名委嘱 任期：平成 29 年 5 月 1 日～ 平成 31 年 4 月 30 日</li> <li>・柴田氏庭園保全整備委員会 5 名委嘱 任期：平成 29 年 5 月 1 日～</li> </ul>	<p>平成 29 年度若しくは平成 29～31 年度の 2 ケ年又は 3 ケ年にわたる委員の適格・適任について審議し、委嘱及び任命しました。その際に、各種関係機関、団体との連携や専門的な知識が必要とされることを重視しました。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">有効性</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効果性</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (コスト)</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (人員)</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>I - 1</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

	<p>平成31年4月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市立博物館協議会8名委嘱 任期：平成29年5月1日～ 平成31年4月30日</li> <li>・敦賀市立博物館調査研究員3名委嘱 任期：平成29年5月1日～ 平成31年4月30日</li> <li>・敦賀市スポーツ振興審議会8名委嘱 任期：平成29年6月1日～ 平成31年5月31日</li> <li>・敦賀市教育支援委員会委員32名委嘱、3名任命 任期：平成29年4月1日～ 平成30年3月31日</li> <li>・学校評議員9名委嘱 任期：平成29年4月1日～ 平成30年3月31日</li> <li>・敦賀市立少年自然の家運営協議会5名委嘱 任期：平成29年7月1日～ 平成31年6月31日</li> <li>・敦賀市公民館運営審議会補欠委員8名委嘱 任期：平成29年6月2日～ 平成30年5月31日</li> <li>・平成28・29年度敦賀市少年愛護センター運営委員会委員3名変更委嘱 任期：平成29年6月2日～ 平成30年5月31日</li> <li>・敦賀市立図書館協議会委員10名委嘱 任期：平成29年9月1日～ 平成31年8月31日</li> </ul>												
条例・規則等の制定及び改正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀市子どものための教育・保育に係る利用者負担額等に関する条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>・全国市長会学校災害賠償補償保険に関する学校災害補償規則</li> <li>・敦賀市立図書館運営規則の一部改正</li> <li>・敦賀市民文化センター設置及び管理に関する条例施行規則の全部を改正する規則</li> </ul>	委員の任命基準の設定や法律変更等に伴う関係条例等の制定及び改正を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	I-8
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
校舎等改良及び補修工事	<p>各学校に必要な補修工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松原小体育館屋根塗装改修工事 外</li> <li>・気比中及び松陵中テニスコート整地等工事</li> </ul>	いずれも、老朽化対応や教育環境向上に伴う改修であり、緊急を要するため早急に対処しました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	A												
非構造部材耐震補強事業	角鹿中学校の体育館の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付し、体育館照明器具の振れ止め固定工事を実施しました。	計画的に工事を進め、学校環境の改善が図られました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	A												
小学校給排水設備改修事業費	粟野小学校の児童トイレ及び職員トイレの洋式化を実施しました。	計画的に工事を進め、学校環境の改善が図られました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	A												

教育振興備品の購入	6月頃予算を各学校に配分し、各学校の要求に優先順位を付け、必要な教材備品を購入しました。購入時期は、利用の期日に合わせ適切に設定しました。 また、必要な小学校の鼓隊、中学校のプラスバンドの備品、理科振興備品及び特別支援学級の備品等を適正に整備しました。	各学校と綿密に協議し、要求に添うよう対応することで、良好な教育環境の整備を図ることができました。教育活動に必要な備品が整備でき、学習効果を高めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-5
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
幼稚園備品の購入	幼稚園の要求に優先順位を付け、必要な管理及び教材備品を購入しました。	備品の計画的な整備を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-1
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
角鹿中学校校区統合検討経費	角鹿中学校及び敦賀北・赤崎・咸新小学校を統合した小中一貫校の設置に向けて、統合の実現に必要な課題の解決や準備事項について検討・調整を行う「角鹿中学校校区小中一貫校設置準備委員会」を設置しました。	長年の懸案事項であった同校の設置について、具体的かつ前向きな検討を行い、設置に向けた諸課題について検討・調整することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	⑤転換	I-2
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	A												
教育功勞者の表彰	敦賀市の教育行政に功勞のあった個人及び団体に対し、功勞賞及び奨励賞を授与しました。 表彰式：平成29年11月13日実施 受賞者： 教育功勞賞 下野 弘喜 (元敦賀市教育委員・教育長) 教育功勞賞 佐々木與栄 (元敦賀市教育委員) 教育奨励賞 奥田 康子 (粟野中学校養護教諭) 体育奨励賞 佐野 一哉 (敦賀市体育指導委員協議会会長)  計 個人4名	教育功勞者の選定、表彰式とも計画的に実施できました。被表彰者については、潜在者の掘り起しが必要です。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	I-16
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
教育委員会事務事業評価	平成28年度教育委員会事務の自己点検・評価を実施し、9月議会への報告書提出しました。	所管事務の評価により改善点の発見につながりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	I-17
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
学校管理運営	学校施設の保守管理として廃棄物処理や設備等の法定点検にかかる委託等を実施しました。 また、各学校の電気、水道料金等の光熱水費を支払いました。 管理運営に必要な消耗品の購入や小修繕に必要な経費は、予算を年度当初に各学校に配分し、その範囲で必要な消耗品等の購入や修繕を実施しました。 また、各学校の要求に優先順位を付け、必要な管理用備品を購入しました。購入時期は、利用の期日に合わせ適切に設定しました。	学校施設の良好な管理運営を図るため、法定点検等の委託を、安全・安心の観点から適切に計画どおり実施できました。 また各学校へ予算を配分することで、有効で計画的な運用を図ることができました。 各学校と綿密に協議し、要求に添うよう対応することで、良好な管理運営を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-1 Ⅱ-5
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

学校給食の運営	自校給食校の給食室備品の老朽化に伴う、計画的な整備や調理に必要な光熱水費・下水道料金等の支出、調理員の被服等貸与等の業務を実施しました。	給食備品の計画的な整備や、給食運営に支障がないように対応ができました。	有効性	B	①継続	II-5 II-6 II-7 II-8
			効果性	B		
			効率性 (コスト)	B		
			効率性 (人員)	B		
学校保健用備品の購入	各学校の要求に優先順位を付け、必要な保健室備品を購入しました。	保健室備品の計画的な整備を図ることができました。	有効性	B	①継続	I-10 II-5 II-6 II-7
			効果性	B		
			効率性 (コスト)	B		
			効率性 (人員)	B		
小中一貫校整備事業費	角鹿中学校及び敦賀北・赤崎・咸新小学校を統合した小中一貫校の設置に向けた、基本計画策定及び基本設計を作成しました。	同校設置準備委員会の施設整備部会において、対象4校の教職員をはじめ、学識経験者、各PTA、各区の意見を十分反映し、学習環境の充実化に向けて有意義な取組みを進めることができました。	有効性	A	①継続	I-2
効果性	A					
効率性 (コスト)	A					
効率性 (人員)	A					

## 学校教育課 自己点検・評価報告書（まとめ）

### 敦賀市「知・徳・体」充実プランについて

敦賀市では平成28年3月に教育大綱を決定し、教育委員会では同年9月に敦賀市教育振興基本計画を策定しました。平成32年度までの5年間を通して、子どもたちに「勉強して考える力」「内面を豊かにする力」「たくましく生きる力」が身に付くよう「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」として具体的な取組を示しました。

「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」に基づき、幼児教育から中学校修了までの学びのつながりを大切にした教育を進めるため、幼児教育と小学校教育の連携、中学校区ごとに小・小での合同授業・交流等、小・中連携・接続等を行いました。

小中学校の先生が互いの校種の学習内容を理解し合って授業をすすめることで、つまづきやすいところや弱点克服のための指導のポイントを整理するとともに教職員の資質向上に取り組みました。

### 教育相談支援事業について

保護者や学校等関係機関と連携を図りながら、不登校・いじめなど児童・生徒の抱える問題を総合的に解決し、学校復帰を支援するため、ハートフル・スクールにスクールカウンセラー及び教育相談支援員を配置するとともに、各小中学校を巡回するスクールカウンセラーを新たに配置し、教育相談体制の充実を図りました。

上記以外にも、問題を抱える児童生徒が増加傾向にあるため、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら児童・生徒及び保護者の環境改善を図るとともに、学校支援員を配置し、学校生活になじめない児童生徒の生活や学習支援を行いました。

### 要保護、準要保護児童生徒就学援助事業、特別支援学級児童生徒就学奨励費について

就学援助、就学奨励を行うことにより保護者の経済的負担の軽減を図り、児童生徒の就学機会を確保しました。

また、平成29年度の第2期の支給から給食費等に滞納のない児童生徒の保護者への口座振替による支給を実施するとともに、新入学用品費の入学前支給を行い、保護者の負担軽減、事務職員等の負担軽減を行いました。

### 施設型給付事業費について

子ども・子育て支援新制度に移行した私立の幼稚園、認定こども園に対して、施設型給付費を交付するとともに、延長保育事業の委託や第二早翠幼稚園の園舎増改築への補助金交付等を行うことにより幼児教育の振興を図りました。

## 学校給食センター事務の自己点検・評価について（まとめ）

学校給食において、創意と工夫により安全で安心な給食の供給と豊かで魅力ある学校給食の実現を図ると共に、児童生徒の心身の健全な発達を図るため、給食業務を推進しました。

### センター管理運営費について

- ① 施設修繕 昭和59年度建設以来年数が経過しており、経年劣化による故障は随時起こっていますが、調理に直接関係する設備は計画的に修繕や部品取替等を実施しました。近年、突発的修繕が多くなっています。
- ② 保守点検 専門業者に専門的器具の保守点検業務を委託し業務に支障ないよう対応しています。また、日頃より器具点検を行い初期対応に努めています。
- ③ 自己点検 設備の故障は即業務に反映するため、常時管理体制の強化に努め、合理的且つ効率的な運営が出来ました。今後とも施設修繕を計画的に進めていきます。

### 食材料購入について

- ① 食 材 料 学校栄養教職員が作成した献立に基づき食材料を選定しています。
- ② 検 収 学校栄養教職員が検収し納品された数量や品質の確認を実施しています。
- ③ 自己点検 食材選定においては産地、加工地、成分分析等の確認を徹底し品質管理に万全を期し、安全・安心な給食の供給に努めています。  
積極的に地産地消に取組み、調査月間である6月・11月の月間県内産食材使用率（重量ベース）で50%以上が目標でありましたところ、当センターの県内産食材使用率は年間平均約42.4%、市内産食材使用率（重量ベース）で15%以上が目標でありましたところ、当センターの市内産食材使用率は約16.9%の使用率でした。  
また、毎年何件か発生しているインフルエンザに伴う学級閉鎖による食数変更が何件かありましたが、食材料への対応も問題なく給食の供給が出来ました。

### 配送業務について

- ① 業務形態 平成15年度より民間に委託
- ② 配送車両 3トン車：3台、1.5トン車：1台
- ③ 配 送 先 市内小中学校 11校1園  
(小学校7校、中学校4校、幼稚園1園)
- ④ 自己点検 調理業務との連携のもと、専用車の故障や交通事故もなく配送時間内の業務が実施出来ました。

### 調理業務について（数値は29年度実績）

- ① 業務形態 平成16年度より民間に委託

- ② 供給校 市内小中学校 11校1園  
(小学校7校、中学校4校、幼稚園1園)
- ③ 延べ食数 完全給食校 569, 209食  
米飯校 187, 978食
- ④ 自己点検 業務遅滞や食中毒発生等による学校行事への影響はなく、当初の目的どおり実施出来ました。

## 学校給食あり方検討について

### ① 敦賀市学校給食あり方検討委員会実施（2回）

実施日 第1回（通算第4回）：平成29年 4月24日（月）  
第2回（通算第5回）：平成29年 5月 9日（火）

委員 学識経験者、区長連合会会長、PTA連合会会長  
PTA連合会子育て委員長、敦賀合同青果㈱代表  
給食担当校長、給食主任、栄養教諭、調理員 計10名

目的 学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達並びに食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものです。今後、児童及び生徒に必要な栄養価が確保され、安全・安心で魅力ある給食を提供し、さらに学校給食のより一層の充実を図っていくために、平成28年2月に実施した学校給食費に関するアンケート結果を踏まえ、学校給食費の単価改定等に関すること及び当センターの今後の方向性等について検討するための「敦賀市学校給食あり方検討委員会」を設置しました。

諮問内容 ・学校給食費の改定の要否とその理由  
・学校給食費を改定する場合の時期と額  
・消費税率が10%になった場合の対応  
・学校給食費を改定する場合の保護者等への周知方法、周知時期及び周知期間  
・学校給食費の公会計化  
・学校給食センターの今後の方向性  
・その他給食に関し必要な事項

- ② 自己点検 あり方検討委員会は、学校給食に関わりの深い担当教職員・栄養教諭・調理員や、学識経験者として栄養学専門の名誉教授、保護者代表のPTA連合会会長・子育て委員長、市民代表の区長連合会会長等で構成し、児童生徒に必要な栄養価が確保され、安全・安心で魅力ある給食を提供し、更に学校給食のより一層の充実を図っていくため、平成29年度は2回（平成28年度から通算5回）の検討委員会を開催しました。

検討委員会では、諮問の内容について、様々な視点から十分に検討していただき、敦賀市学校給食のあり方についての答申を教育長に提出いただきました。

教育委員会では、この答申を受け、敦賀市学校給食のあり方に関する方針を以下のとおり決定しました。

- ・学校給食センターにおける学校給食費について、平成29年10月から、一食あたりの副食材料費を10%（給食費全額としては6%）増額する単価改定を行う。
- ・消費税率が10%となった場合は、その分の給食費を増額する。
- ・学校給食費を改定する場合の保護者等への周知方法、周知時期及び周知期間は、平成29年6月から9月までの4ヶ月間とし、周知の方法は、「おたより」の配布や市ホームページへの掲載、また、市P連等への説明会を開催する。
- ・学校給食費の公会計化については、学校現場における教職員の事務負担軽減と監査機能の充実、不正経理の防止を図るため導入する。システムについては、今後示される国のガイドラインを参考に整備を行い、最初は学校給食センター校を対象に公会計を開始し、自校給食校については順次移行していく。
- ・学校給食センターの今後の方向性については、「学校給食衛生管理基準」によるドライシステム化への対応や、完全米飯給食の実施、アレルギー食への対応を行うため、大型設備の更新等、大規模修繕が想定される平成35年を目途に再構築を進める。

なお、学校給食費改定に係る保護者等への周知については、保護者へ「おたより」を配布し、教育委員会ホームページへの掲載を行うとともに、保護者説明会（8月8日（火））と市P連への説明会（8月30日（水））を実施しました。

## 学校教育課

### 1 事務分掌

- (1) 児童・生徒の就学事務に関する事。
- (2) 市立小・中学校の管理に関する事。
- (3) 敦賀市補助金交付事業に関する事。
- (4) 就学援助費・特別支援学級就学奨励費に関する事。
- (5) 学校給食に関する事。
- (6) スクールバスに関する事。
- (7) ハートフル・スクールに関する事。
- (8) 幼稚園に関する事。
- (9) 奨学育英資金に関する事。
- (10) 市立幼稚園、小・中学校における学校教育全般に関する事。
- (11) 市立幼稚園、小・中学校教職員に関する事。
- (12) 学校教育に関わる調査統計に関する事。
- (13) 学校教育に係る事業等に関する事。
- (14) 教職員の働き方改善推進に関する事。
- (15) その他学校教育に関する事。

#### [敦賀市ハートフル・スクール及び教育研究室]

- (1) 不登校の児童及び生徒の適応指導に関する事。
- (2) 不登校の児童及び生徒のカウンセリングに関する事。
- (3) 訪問指導に関する事。
- (4) 教育相談に関する事。
- (5) 教材開発及び教育機器の活用に関する事。
- (6) 各教科の学習指導に関する事。
- (7) その他教育研究に関する事。

## 2 自己点検・評価

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
通学区域 審議会運 営	平成29年度開催なし		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td></td></tr> <tr><td>効果性</td><td></td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td></td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td></td></tr> </table>	有効性		効果性		効率性 (コスト)		効率性 (人員)		①継続	I-2 I-10 I-12 II-6
有効性													
効果性													
効率性 (コスト)													
効率性 (人員)													
「知・徳・ 体」充実事 業	幼児教育から中学校修了までの学びをつなぐ「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」や「敦賀市教育振興基本計画」等に基づき、子どもたちの社会性を育み、学力とそれに必要な教職員の資質向上に取り組みました。	幼児教育から中学校修了までの学びをつなぐ「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」に基づく取り組みを行うことができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	B	①継続	II-3 II-6
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	B												
地域教育コ ミュニティ 推進事業	「生きる力」の育成を基本とし、特色ある教育、特色ある学校づくりを推進するため、学校が地域や家庭と連携し、互いの教育力や情報を提供しあい、一体となって教育力の向上を図りました。	敦賀の自然、歴史、文化に触れるとともに、地域連携、人との交流を図り、各学校の特色ある独自事業を実施しました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-3
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
教育課程研 究指定校事 業費	角鹿中学校及び3小学校を統合する小中一貫教育の実現に向けて、小中学校を円滑につなぐ教科指導及び指導体制の工夫改善等について研究を行いました。	国立教育研究所の指定を受け、小中学校を円滑につなぐ教科指導及び指導体制の工夫改善等について研究を行うことができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-3
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
教育関連事業団体等への支援	教育関連事業団体等に事業の教育振興や教育の充実を図る目的で補助金を交付しました。	各団体に補助金を交付することにより、団体事業の奨励が図れました。 また、児童生徒が他学校の児童生徒との交流を深めたり、保護者同士の交流を設けたりすることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	④縮小 I-2 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
教育振興補助金	小学校の陸上記録会、中学校の体育活動に対する補助を行いました。 また、教育委員会が定める区域の児童生徒が通学定期等を購入した場合に、その経費の3分の2又は全額を補助しました。	児童生徒の体育活動に対する補助及び児童生徒が通学定期券等を購入した経費に対する補助を行うことにより、教科指導の推進及び保護者の経済的負担の軽減を図りました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-3 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
学校給食あり方検討経費	「学校あり方検討委員会」を設置し、学校給食費の単価改定等について検討を行い、学校給食のより一層の充実を図りました。	学校給食費の改定に向けて、学識経験者、PTA関係者、職員等と学校給食費の単価改定等について検討を行い、単価改定を実施することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了 II-8
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
教職員の健康診断	夏季休業中の4日間、中郷公民館において県費教職員の健康診断を実施し、健康管理の促進を図り、更なる職務能力と資質向上に努めました。	教職員の健康診断を行うことにより、教職員の健康状況が把握できました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
スクールバスの運行	スクールバス、タクシーを運行しました。 また、角鹿中学校線を新設しました。	事故、トラブルもなく、児童生徒を安全に登下校させることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  I-12 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
ソーシャルワーカー配置事業	市内全小中学校を巡回訪問し、児童生徒の実態に即した重点的な指導及び改善計画をもって、各学校の教育相談体制の構築、支援に努めました。	各学校を定期訪問し、教員等から直接、初期の段階で気がかりな児童生徒の情報を把握し、その後の解決あるいは未然防止において迅速かつ適切な対応ができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-3 II-6
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
道徳教育総合推進事業費	家庭と地域が連携しながら児童の道徳性を高めるため、地域の方等を講師として招き「親子で学ぶ道徳講座」を開催しました。	地域の方等を講師として招き「親子で学ぶ道徳講座」を開催するなど、家庭と地域が連携しながら児童の道徳性を高めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-3
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
地域と進める体験推進事業	児童・生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を通して、ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成するため、各小中学校が実施する事業に対し、補助を実施する。	学校が地域や家庭と連携し、一体となって教育力の向上を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-3
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
奨学育英式金貸付金繰出金	奨学育英資金貸付基金利子の積立を行いました。	奨学育英資金貸付基金の充実を図ることで、より多くの学生の就学支援につながりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
教育相談支援事業	いじめの早期発見、早期対応、未然防止等の対応を図るために、相談員を配置し、電話相談及び関係機関と連携した支援活動を行いました。	電話相談以外にも学校等を訪問し、児童生徒の不安解消に適応した相談事業を実施し、児童生徒の不安解消に適した対策ができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-3 II-6
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
ハートフル・スクール管理運営	教材の開発や教育相談に必要な消耗品や教材図書等の購入、維持管理に必要な光熱費等の支払、研修に伴う講師依頼及び謝礼等を行いました。	施設の管理運営に必要な消耗品等を購入し、円滑な管理運営を行うことができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校（幼稚園）医の検診	校医、専門医、歯科校医、学校薬剤師を委嘱し集団検診や就学时検診を医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携して実施し、児童生徒の健康管理を行いました。  幼稚園においても同様に園医、歯科医、薬剤師と連携し園児の健康管理を行いました。	学校医等については、学校保健安全法に定められたものであり、医師会や歯科医師会、薬剤師会の協力が得られ、実施できました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  I-10 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
白木地区 児童生徒 教育事務 委託	美浜町教育委員会と協議し、教育事務委託を実施しました。 なお事務委託料の算定については、美浜町交付税単位費用額を参考に委託額を算定し、3年に1度、事務委託の算定額の見直しを行っています。	白木地区の児童生徒が美浜町の小中学校に通学するため、美浜町教育委員会に教育事務委託をすることにより、より安全に教育を提供することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-2
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校支援 員配置事 業	小中学校において、授業の補助や気がかりな児童生徒の不安を和らげるなど、学級活動を支援するため、教員資格者を支援員として配置しました。	学校支援員が学校生活になじめない児童生徒の生活や学習支援を行ったことにより、学級活動が円滑に推進され、児童生徒が心にゆとりを持ち学習できる教育環境の充実が図られました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-6
有効性	A											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
図書等の購 入	全小中学校に学校教育で必要な指導用図書等を購入しました。 また、学校図書館用の図書を購入しました。	指導書、学校図書を必要部数揃えることができ、教育力の向上を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-4
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校間情報 ネットワー クシステム 管理運営	学校間情報ネットワークシステムが支障無く各学校、ハートフル・スクール及び教育委員会においてシステムの使用ができるよう維持管理を行いました。	学校間情報ネットワーク機器の保守委託の範囲を見直すことで、経費削減することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-4 II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
教育用コンピュータ管理運営	各小中学校に教育用コンピューターを備えた教室を管理し、パソコン用教材のエデュモールを使用した教育実践により、情報教育の向上を図りました。	教育用コンピューターとエデュモールの利用により、ICTを活用した授業の取り組みを推進できました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-4 II-5
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
要保護・準要保護児童生徒就学援助	各小中学校において経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に就学援助を行いました。	就学援助を行うことにより、就学困難な児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図り、児童生徒の就学機会を確保するとともに、学校が集金する必要額の未納対策にも効果的でした。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
特別支援学級就学奨励	各小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励を行いました。	特別支援学級に在籍する児童生徒に就学奨励を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、児童生徒の就学機会を確保するとともに、学校が集金する必要額の未納対策にも効果的でした。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
消耗教材等整備	各小中学校に必要な教材消耗品や教材備品等の修繕を行いました。	予算配分の中で、学校運営に支障がないように必要な消耗品の購入や備品等の修繕を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
松下むめ 文庫基金 積立金	松下むめ文庫基金利子の積立を行いました。	松下むめ文庫の充実を図ることで、児童の本を読む機会を増やすとともに、豊かな心の育成につながりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-4
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
施設型給 付事業費	子ども・子育て支援新制度へ移行した「私立幼稚園」「認定こども園」に対して、教育・保育に要する経費を給付しました。	各幼稚園等の施設整備の充実、延長保育など管理運営の充実を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-13
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
一時預かり 等事業費	私立幼稚園、認定こども園において、敦賀市子ども・子育て支援事業計画に沿って実施する延長保育事業、一時預かり事業等の実績に対し、交付金を交付しました。	児童の保護者が就労又は疾病その他特別な理由のため、家庭での保育に欠ける児童を緊急又は一時的に保育することにより、当該児童の健全な育成を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-13
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
私立幼稚園 運営費等補 助金	第二早翠幼稚園の産休代替職員に対する補助金を交付しました。	本補助金を交付することにより、第二早翠幼稚園の負担軽減及び延長保育など管理運営の充実を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続  II-13
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
私立認定こども園施設整備事業費補助金	第二早翠幼稚園の園舎改築・増築に係る経費に対して、補助金を交付しました。	本補助金を交付することにより、第二早翠幼稚園の施設設備の充実や保育定員拡充など保護者のニーズに対応することができました。	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ-13
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
その他諸経費	<p>教員や児童生徒に必要な物品や学力調査及び、児童生徒の校外活動等を行いました。</p> <p>また、幼稚園における、教諭や園児に必要な物品や園外活動のバス借上等を行いました。</p>	<p>校外学習のバス借上げや、知能テスト、学力調査の実施等により、児童生徒の学力向上、体験的な学習を充実することができました。</p> <p>また、園外学習や年間行事を円滑に実施することができ、幼稚園教育の運営の充実が図れました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-3 Ⅱ-4 Ⅱ-5 Ⅱ-6
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

○給食センター

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
		実現度	効果度										
給食センター施設管理	施設及び設備は年数が経過しており、経年劣化による故障が増加し、毎年計画的に修繕を実施しているが、突発的故障は随時発生している。調理業務に支障ないよう常に点検を行い、異常を発見した時点で修繕を実施した。	業務に支障なく施設管理が出来た。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 8
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
給食センター管理運営	安全で衛生的な作業環境を整え円滑な業務運営を行うため、施設の保守点検等の業務委託や施設内の衛生面を確保し、食中毒防止に努めた。 調理業務等に欠かせない燃料・電気・水道代は、節油・節電・節水等を行い経費削減に努め、光熱水費に大きな影響もなく、業務を支障なく実施した。	食中毒や機器の故障による大きな問題もなく管理運営が出来た。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 8
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
学校給食食材料の購入	学校栄養教職員が作成した実施献立に基づき材料を購入した。納入の際には、職員立会いのもと検収を行い、納品された数量や品質の確認を行った。また、各業者に対して産地・加工地・成分分析等の確認を徹底し品質管理の確保や毎日の納入遅延防止や数量把握の確認を行った。	実施献立に基づき、納品の遅れや間違い及び品質に問題なく給食用材料の購入が出来た。 また、県内産の食材を積極的に利用し、地産地消の拡大を図った。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	① 継続	Ⅱ - 9
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
給食配送業務	学校給食センターで調理した給食の学校への配送及び回収業務を委託した。配送までの時間配分に留意し調理された給食を配送専用車に積み込み供給校へ配送・回収業務を実施した。また、受託者において配送専用車の日常点検・定期点検等や業務従事者への安全衛生管理を徹底するよう指示し、業務を実施した。 業務委託を平成15年度に開始し15年が経過している。  【配送日数】 199日 【配送車両】 3t車3台・1.5t車1台 計4台 【配送及び回収時間】 配送 10:20~11:40 回収 13:00~14:35 【給食配送先】 ・完全給食校 小学校5校、中学校2校、幼稚園1園 ・米飯供給校 小学校2校・中学校2校	配送専用車の故障や交通事故は、学校給食に大きな影響を及ぼすところであるが、問題なく配送業務が実施出来た。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 8
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												

給食調理業務	<p>学校給食センター供給校への給食調理業務及び敦賀市防災計画に基づく学校給食センターの災害対策事務分掌（炊出し班）の業務を委託した。</p> <p>調理機器の取扱いや学校栄養職員が作成した実施献立に基づき調理業務から配送までの時間配分に留意し業務を実施した。また、受託者における調理器具等の日常点検及び取扱い研修の実施により、調理従事者の安全衛生管理を徹底するよう指示し、業務を実施した。</p> <p>業務委託を平成16年度に開始し14年が経過している。</p> <p><b>【給食日数】</b> 199日</p> <p><b>【給食供給校別】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完全給食校 小学校5校・中学校2校・幼稚園1園</li> <li>・米飯供給校 小学校2校・中学校2校</li> </ul> <p><b>【供給回数及び延食数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完全給食校 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>小学校</td><td>191回</td><td>391,685食</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>190回</td><td>164,159食</td></tr> <tr><td>幼稚園</td><td>177回</td><td>6,962食</td></tr> <tr><td>センター</td><td>199回</td><td>6,403食</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">小計</td><td>569,209食</td></tr> </table> </li> <li>・米飯供給校 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>小学校</td><td>95回</td><td>88,655食</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>96回</td><td>99,323食</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">小計</td><td>187,978食</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td><td>757,187食</td></tr> </table> </li> </ul>	小学校	191回	391,685食	中学校	190回	164,159食	幼稚園	177回	6,962食	センター	199回	6,403食	小計		569,209食	小学校	95回	88,655食	中学校	96回	99,323食	小計		187,978食	合計		757,187食	<p>学校行事に大きな影響を及ぼすこともなく、調理業務が実施出来た。</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	II - 8
小学校	191回	391,685食																																						
中学校	190回	164,159食																																						
幼稚園	177回	6,962食																																						
センター	199回	6,403食																																						
小計		569,209食																																						
小学校	95回	88,655食																																						
中学校	96回	99,323食																																						
小計		187,978食																																						
合計		757,187食																																						
実現度	B																																							
効果度	B																																							
効率度 (コスト)	B																																							
効率度 (人員)	B																																							

## 生涯学習課 自己点検・評価報告書（まとめ）

生涯学習課関係事業は各種講座・学級の開設や自主学習教室の育成など、生涯学習の推進と、少年交歓研修、成人式、地区の祭りの運営協力など人づくり、地域づくりの推進を目指して事業を行いました。

### ① 数値目標の達成状況と分析

【主催事業利用者実績（年度末）・講座・教室・学級・行事参加数】

※10ヶ所（9公民館及び生涯学習センター）

H27年度	55,837人
H28年度	59,132人
H29年度	57,149人

【増減理由】

- ・自主学習教室総数では昨年比4,171人の増加となっており、駐車場が確保されている公民館に目立っています。特に、松原公民館は昨年比5,352人増となりました。生涯学習センターで行われる自主学習教室の拠点を公民館に変えたことにより、センターでの自主学習教室人数が大幅に減りました。生涯学習センターについては、研修室の3部屋は机が設置されている場所となり、利用方法が限られるため、今後の生涯学習センターでの自主学習教室については、公民館との連携を図り、人数、教室内容に応じて教室の拠点を変更する可能性について検討することが必要と考えます。
- ・今年度も、社会教育施設として、住民ニーズを把握し、魅力ある教室が開催できるよう随時見直していくことが必要と考え、今後も社会教育の重点施策「社会教育施設の円滑な運営」にある生涯学習の立場にたって、地域住民の多種多様な学習要求に応えると共に、自主的で活発な学習活動が展開されるよう、学習機会の拡充と内容の充実に努めます。

【生涯学習施設利用者数（年度末）】

H27年度	127,534人
H28年度	124,367人
H29年度	126,345人

【増減理由】

- ・施設の利用者数は平成28年度減少しておりましたが、今年度は昨年度比1,978人の増加となっています。
- ・生涯学習課及び公民館は、社会教育の方向や公民館運営方針に基づいて地域の実情に応じた施設の目標を設定し、毎年PDCAサイクルによる継続、見直し、新たな目標を地域住民とともに共有し目標の実現するために努めています。

### 【大会、研修会参加数（年度末）】

H 2 7 年度	2, 8 3 9 人
H 2 8 年度	2, 9 6 4 人
H 2 9 年度	2, 1 9 3 人

### 【増減理由】

- ・公民館が主催し開催した各種大会（文化祭、カルタ大会、演芸のつどい、講演会、囲碁将棋大会等）に参加した人数で、昨年度比771人の減少となっております。
- ・昨年度からの大幅減少となった理由として、昨年度松原公民館の新築移転に伴う落成記念フェスティバルを行っており、昨年度限りのイベントであったことが影響していると考えられます。
- ・継続的に行われている高齢者を対象として寿学級などにおいて、演奏会などの催し物の内容により、参加者数に変動が見られる傾向があります。
- ・今後、地域社会が必要とするリーダーの育成に公民館が各種団体と連携し、バックアップしていくことが求められると分析します。

## ② 生涯学習推進事業について

生涯学習センターでは以前から受講希望者の多い講座である英会話、韓国語、中国語講座のほか、ペン字講座を開催しました。また、流行を取り入れた講座や、男性をターゲットにした講座の開催を試み、新たな利用者の掘り起こしに努めました。

一方、公民館では、高齢者学級、女性学級などを開催し、健康、交通安全、子育て、時事問題など地域住民の身近にある様々なテーマで学習の場を提供し住民の自己研鑽に役立ちました。

また、生涯学習課と公民館において、受講生が自主的に運営している各種自主学習教室につきましては、運営に対して助言をし、発表の場である文化祭開催に協力することで自主学習活動の育成を図り、住民の生きがいがいづくりに努めました。自主学習教室については、98教室と増加しましたが、教室の参加者が10名に達しない教室も存在するため、参加者の増加に努める必要があるなど、新規の自主学習教室の増加も必要と考えますが、今ある自主学習教室の充実の支援について検討することが必要であると考えます。

## ③ 心ゆたかな人づくり事業について

平成28年度の姉妹都市水戸市との少年交歓研修につきましては、第50回目となる派遣は例年どおり8月に行いました。なお、52回目の受入については、3月末に実施し、交歓の期間を6ヶ月あけることで子ども達の負担を軽減することができ、交歓研修を途切れることなく継続して実施することができました。

また、成人式も例年通り開催し、新成人の企画運営委員による進行で挙行了ました。平成28年度には、一部新成人において、式典の進行の妨げとなるような行動があったため、式典の運営体制の見直し及び警察との打ち合わせを密に行い、妨害行為のない式典を行うことができました。今後も、新成人の自

主性や協働意識を高められるよう、企画運営委員と調整を行っていくとともに、2022年の民法改正に伴い、18歳成人となるため、今後の成人式について他市町の状況も踏まえ、検討を進めていきたいと考えております。

子育て講座として、保護者に対して、家庭教育の重要性や具体的な方法について学習する機会を就学児健康診断時に市内の11（市内13小学校の内3校合同開催）の小学校において実施し、好評を得ることができましたので、今後も継続したいと考えています。

#### ④ 地域づくり事業について

生涯学習課ではふるさとづくり運動、小さな親切運動、敦賀市民憲章推進運動などを推し進め、また、人権研修会を開催するなどぬくもりのある地域づくりを目指しました。

なお、人権啓発に関連しては、生涯学習センターの主催講座の講師に協力を依頼し、主催講座の時間を利用して人権教育研修会を開催したほか、人権週間に合わせて毎年開催しています敦賀市人権教育指導者研修会では、市民一人ひとりが人権問題についての認識を深め、人権尊重の社会が確立するよう努めました。

また、公民館では、地区の祭り、体育大会、クリーン作戦などを住民と力を合わせて開催し、地区の豊かなコミュニティづくりを目指しました。今後も地区の特性を活かした事業展開を目指していきたいと考えています。

地域コミュニティモデル事業として、住民主導で地域活性化、世代間交流、防災等の事業を通じて、地区内の地域振興を図る取り組みをする組織に交付金を交付し、組織を支援しました。本事業の取り組み2年目となる栗野コミュニティ運営協議会から今年度も申請があり、様々な事業に取り組んでおり、地域の人々が公民館に集う事業を展開し、参加者の増加が成果となって現われたと考えております。また、他地区においても、住民による自主的なコミュニティ活動を支援できるよう、交付金の取り扱いを検討してまいります。

#### ⑤ まとめ

以上のような事業を実施してまいりましたが、自主学習教室については、社会全体の高齢化に伴い受講生も高齢化の傾向にあります。生涯学習センターと各公民館で教室を開催し、受講しやすい環境を整備することで年々受講者数が増え、各年度とも3万人を超えています。

生涯学習課及び公民館の自主学習教室をはじめとする主催事業の年間参加人数は、平成23年度から比較して段階的には減少していますが、特に生涯学習課が主催で開催している講座で、敦賀市の特色ある生涯学習に繋がるような語学講座（韓国語、中国語、英語）の受講者を増やすことや、市民のニーズにあった講座を開催するために、今年度は流行を取り入れたチョークアート講座を新たに開催したほか、男性の参加者を増加する目的で開催したマジック講座など、これまで生涯学習にあまり興味を持たない層に対し働きかけを行う取り組みをしました。

敦賀市社会教育委員の会が平成30年3月に平成28年、29年度に家庭教育に関する自主研修を行った結果を取りまとめ、教育長に提言書を提出しました。平成23年度から小学校就学時健康診断時に子育て講座を開催していることに加え、中学入学時説明会時にも保護者に対して思春期子育て講座を行ったり、公民館を利用し、親子の交流を図る体験型教室を公民館と連携して企画するなどの内容を提言書に盛り込み、来年度より積極的に活動してまいります。

小学生などの公民館利用については、今年度から放課後地域子ども教室を愛発地区でも開催し、全公民館で行いました。初めての開催となった愛発公民館では、5回の開催で、児童15名が参加されました。地区の小学校が無い場合、大人数の参加は難しい状況にありますが、継続的に今後も開催していきたいと考えております。また、他館においてもさまざまな教室を立ち上げ、実施回数も増えておりますので、今後も子どもたちに興味を持ってもらえるような内容や、平日に開催できないかなども検討し、取り組んでまいります。

また、以前から生涯学習課や公民館を利用する方は、どちらかというところが高齢の方や婦人が多く若い方は少ない傾向がありましたが、幅広い年齢層の方に受講していただくため、新しい講座として介護や健康、食生活に関するものや親子で楽しめるものを取り入れ、公民館を取り巻く地域住民を対象として実施しました。これらの講座は内容の性質上、年間を通して開講するものにはならないため、延べ参加人数はそれほど増えるものではありませんが、生涯学習のきっかけづくりとなること、そしてこれまで生涯学習課や公民館を利用されてこなかった方に、利用していただくことも大いに意義あることととらえていますので、各公民館が積極的に地域の特色を生かして発案した事業を予算化し、新規利用者を増やす取り組みをしたいと考えています。

## 図書館 自己点検・評価報告書（まとめ）

### 図書館業務

図書館の開館時間は、図書館運営規則により平日は午前10時から午後7時まで、土・日曜日は午前10時から午後6時までとなっておりますが、6月から9月までの期間を、教育委員会の承認を得て、午前9時30分からの開館時間といたしました。30分早く開館することにより、市民の利用ニーズに対応できる環境を整えています。

また平成29年度から、資料特別整理期間を9月から、来館者数が比較的少ない2月に移行することで、利用者数の増加を図りました。

第6次敦賀市総合計画後期基本計画及び教育振興基本計画により「地域の知の拠点」の機能に加え、「まちづくりの拠点」としての機能を併せ持つ施設として、市民が利用しやすい環境づくりを進め、利用者の増加に努めてまいります。

さらに、敦賀市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもから大人までが幅広く読書に親しみ、次代を担う子どもたちの健全な育成を目標とし、家庭や地域、学校などと協力・連携して、読書推進活動を総合的かつ効果的に進めてまいります。

### 図書館利用状況（栗野公民館図書コーナーを含む）

	開館日数	のべ利用者数	1日平均利用者数	のべ貸出冊数	1日平均貸出冊数	登録者数
平成27年度	274	206,560	754	312,220	1,139	924
平成28年度	274	193,562	706	298,285	1,089	756
平成29年度	279	200,966	720	286,673	1,028	772

昨年度と比較すると、1日平均の貸出冊数は減少しましたが、利用者数は増加しました。予約状況においては、ネット件数と窓口件数に増減はありましたが、総数では昨年並みの件数になりました。

### 図書予約状況

(件)

	予約総数	ネット件数	窓口件数
平成27年度	17,410	13,067	4,343
平成28年度	15,700	11,463	4,237
平成29年度	15,313	8,969	6,344

### 図書館の管理運営

図書館システムの堅実な運用を確保し、館内各設備機器等の確実な動作と安全のための保守管理・施設等修繕を実施し、円滑な運営を行いました。

今後も図書館業務の効率化・迅速化を図り利用者の利便性向上に努めます。

## 図書の購入

図書の購入については、見計らい本並びにブックキャラバンの現物選書を実施し、また新聞書評等を参考にして選書いたしました。

今後も特色ある図書館を目指し、「地域の知の拠点・まちづくりの拠点」として蔵書の充実に努めます。

図書館蔵書受入状況 (冊)

	前年度 蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	その他	除籍冊数	3月末 蔵書冊数
平成27年度	255,742	6,402	538	1	6,345	256,338 (596増)
平成28年度	256,338	5,241	3,273	2,140	4,905	262,087 (5,749増)
平成29年度	262,087	5,530	1,004	1	1,777	266,845 (4,758増)

## ブックスタート事業

ブックスタート事業は、生後7ヶ月の乳児とその保護者を対象に（健康管理センターの7ヶ月児すくすく相談事業に合わせる）親子で本にふれあうことの大切さをアドバイスし、心ふれあうひとときをもつ契機とすることができました。

今後も、より多くの親子が絵本を開く時間の楽しさを、体験できるよう努めていきます。

ブックスタート参加状況 (人)

	対象者数	図書館	子育て総合 支援センター	栗野子育て 支援センター	合計 参加者	参加率
平成27年度	560	175	118	141	434	78%
平成28年度	560	158	121	150	429	77%
平成29年度	568	179	117	150	446	79%

平成29年度は、ブックスタート事業の参加率向上のため、市内4カ所の産婦人科施設に啓発ポスターを配布し、事業の周知に努めました。

## 図書利用推進事業

図書利用推進事業は、学校図書館や幼稚園、保育園等にも図書を配架し、図書の利用推進を図りました。

配架先は39施設で実施しており、今後も事業推進を図ってまいります。

### 図書利用推進貸出状況

	貸出施設数	貸出冊数
平成27年度	30施設	19,230冊
平成28年度	41施設	20,975冊
平成29年度	39施設	20,950冊

配架先は2施設減りましたが、貸出冊数は前年並みとなりました。また、平成28年度から児童クラブ数の増加により、貸出施設数が増えました。

### 視聴覚ライブラリー

家庭環境でも視聴覚機器等は充実してきている関係もあり、利用状況が伸びることは期待できない状況ではありますが、今後も視聴覚資料の充実と環境整備等を実施して、利用者の拡大を図ります。

### 視聴覚コーナー利用統計

(人)

	DVD	インターネット	音楽CD 他	合計	大人	子ども	1日平均
平成27年度	4,470	1,074	205	5,749	2,379	3,370	21
平成28年度	2,711	1,142	72	3,925	1,727	2,198	15
平成29年度	2,584	3,111	64	5,759	2,640	3,119	21

平成29年3月にリニューアルを行い、インターネットの台数が4台から13台に増えたことにより、利用者数が増加しました。

平成29年度のDVD・CD購入枚数は44枚です。

## プラザ萬象自己点検・評価報告書(まとめ)

プラザ萬象は、市民相互のふれあいの場、つどいの場、団体活動推進の場として、あらゆるニーズに応えられるよう総合的な機能を持った多目的会館です。

### ① 数値目標の達成状況と分析について

【利用者数実績（年度末）】

H27年度	103,348人
H28年度	74,315人
H29年度	68,715人

【増減理由】

- ・ H29年度は、前年比5,600人減となった。稼働率は大ホールで0.7ポイント、小ホールで7.3ポイント増加しており、全体としても5ポイント増加していることから、集客数が低い利用が増加しているものと考えられます。また、平成30年2月には、大雪に伴い、キャンセルが相次ぐなど、天候面での利用者減少がありました。昨年度も行っておりますが、会議室の利用においては、利用の希望があれば空いている限り利用して頂くことを心掛け、利用者数の増加につなげていきたいと考えています。
- ・ H27年度までは、大勢の方が集う教育フェアが実施されたことや、青少年健全育成の全国大会が開催されたことで、利用者数が多くなっていましたが、今年度はそれらの大型フェアや大会がなく利用者減にもつながっています。

### ② 利用者の拡大について

プラザ萬象は総合的な機能を持った多目的会館ですので、舞台での催し、展示、祝宴、会議など様々な用途に利用できること、JR敦賀駅から近いうえ駐車場も広くアクセスしやすいこと、休日に比べ平日はホールの使用料を低額に設定していることなどを、すでにホームページでPRし利用者の拡大を目指してきました。また、平成26年度に入って市内のギャラリー閉鎖による展示発表場所不足の要望から、多目的室を市民ギャラリーとして改修し、利用促進を図っていますが、有料であるからか、利用が伸び悩んでいます。今後は老朽化に伴う改修工事が必要となってくることから、利用者数が今年度のように減少するケースが考えられます。施設の維持には必要な改修工事であるため、なるべく利用者があまり不便にならないよう配慮した工事時期や工事内容を検討し、利用者の落ち込みを最小限にしていくことが必要であると考えます。

### ③ 利用しやすい環境づくりについて

職員の受付事務や、催事の運営等に関する助言や協力もこれまで同様丁寧に行うとともに、出来る限り利用していただく方の要望に応えるよう、「断らない」受付を心がけていきます。建物・設備の管理についても年次及び長期計画を立て維持修繕を施し、皆様に気持ちよく利用していただけるように引き続き努めてまいります。

## 少年愛護センター 自己点検・評価報告書 (まとめ)

少年愛護センターは、青少年の健全な育成を図ることを目的に、各関係機関や青少年育成団体と連携し、補導活動、相談活動、青少年健全育成活動に取り組みました。

補導巡視における青少年への声かけにより、地域の人に見守られているという意識付けを行うとともに、体験行事や、社会学習、啓発行事を通じて、青少年の豊かな心の醸成に役立てることができました。

なお、育成者や市民全般へは行事を通じ、青少年育成の環境浄化や家庭教育の意識を高める取り組みを行いました。

また、家庭教育や青少年自身からの悩み相談に対応することで、心身ともに健やかな青少年の成長に資することができたと考えています。

### 1. 青少年補導活動について

補導とは、その地域に住んでいる社会人としてわが子を愛し、わが子を愛するように地域の子を愛し、いま住んでいる地域を愛するという気持ちで子どもたちに温かい目を注ぎ、健やかな成長を見守る活動であり、平成29年度は91名の補導員により2人1組で年間を通じ延べ587回補導巡視を実施しました。

不良行為や非行につながりそうな行動をしている青少年がいたら「愛のひと声」運動を実施し、1年間に延べ1,461人の青少年に声かけを行いました。

声かけを行った場所としては、ゲームコーナーや量販店、書店が多く、その他公園、寺社、路上などでも声かけを行っています。

出来る限り多くの青少年に声かけを行いたいと考えていますが、近年、少子化、また、スマートフォン、携帯ゲーム機等の普及により、子どもたちが外出することが少なくなったせいか、ゲームコーナーや、公園等で見かける子どもが少なくなっています。

また、ネット機器の使用によるトラブルに対応した声かけを今後検討する必要があると考え、平成29年度は、例年実施している補導員研修に、スマートフォン、携帯電話の安全な使用により子どもをトラブルから守るための研修を取り入れ、補導員の理解を深めました。このことについては、長期的な取り組みの必要性があると感じており、今後も引き続き実施していきたいと考えています。

なお、青少年を取り巻く環境を少しでも良くするために、毎年1回、福井県からの依頼で社会環境調査を実施しています。

### 2. 青少年健全育成活動について

青少年健全育成敦賀市民会議と連携して「地域の子どもは地域ですこやかに育てよう」をスローガンに、各種青少年健全育成行事を実施し、親子、仲間、地域とのふれあいの場を提供したり、市民に明るい環境づくりを訴え、地域住民の積極的な協力により地域の子ども達を守り育てる意識の高揚に寄与しました。

- ・5月21日「親子のフェスティバル」を開催し、約23,000人の参加を得ました。

- ・ 6月10日「青少年育成敦賀市民大会」を開催し、約600人の参加を得ました。
- ・ 「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」作文、図画・ポスターの募集を行い、6,265通の応募があり、優秀作品を表彰しました。
- ・ 小学4～6年生を対象とした「ひまわり塾」を7月から10月に計4回開催し、延べ149名の参加を得ました。郷土の食に関する体験学習と、施設見学等による社会学習を行い、見識を深めました。
- ・ 青少年育成推進員及び一般市民を対象に家庭教育講演会を開催し、36名の参加を得ました。

## 少年自然の家 自己点検・評価報告書 (まとめ)

### 利用団体及び利用者数について

平成29年度に当施設を利用した団体数及び延べ人数は、127団体、7,020人で、前年度に比べ団体数で3団体、延べ人数で392人の微減となりました。

減となった要因としては、空調設備改修工事で8月下旬から9月上旬にかけて、およそ2週間宿泊の利用ができなかったことが挙げられます。

当施設は、子供たちが集団生活と周囲の自然に触れあい、様々な体験学習を行うことができる数少ない社会教育施設であり、今後も学校やスポーツ少年団、子ども会等と連携を密にし、隣接市町の各種団体の利用も視野に入れた利用者の拡大を目指します。

また、利用が少ない冬期には、団体等に研修や合宿等の場としての利用をPRし、施設の有効利用を図っていきます。

### 主催事業について

子ども達が施設周辺の自然に親しみ、触れ合い、活動することを目的に、年2回主催事業を開催しました。

9月は「秋のふれあいキャンプフェスタ」を1泊2日で開催し、定員50名のところ、50名の親子で賑わいました。また、2月は「早春のふれあいフェスタ」を開催し、定員50名のところ、26名の参加がありました。

今後はさらに、多くの方の協力を得て、魅力ある主催事業となるよう努めていきます。

### 施設管理及び運営について

利用者が安全にかつ快適に利用できるよう、各種設備や施設の維持管理を専門業者に委託し、安全面や衛生面に気を配りました。

施設については、昭和54年開所以来37年以上経過し、機械設備や建物施設の劣化が目立つことから、計画的に修繕を行っていきます。

## 生涯学習課

### 【生涯学習課の事務分掌】

- (1) 社会教育に必要な援助に関する事。
- (2) 社会教育委員の委嘱に関する事。
- (3) 社会教育施設の整備に関する事。
- (4) 社会教育と学校教育の連携に関する事。
- (5) 家庭教育に関する学習の機会の提供及び奨励に関する事。
- (6) PTA、社会教育団体等諸機関の指導育成に関する事。
- (7) 青少年の体験活動に関する事。
- (8) 社会教育に関する調査統計に関する事。
- (9) 生涯学習センターに関する事。
- (10) 図書館に関する事。
- (11) プラザ萬象に関する事。
- (12) 少年愛護センターに関する事。
- (13) 少年自然の家に関する事。
- (14) 公民館に関する事。
- (15) その他社会教育に関する事。

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
社会教育委員の活動	社会教育委員会議を5回開催し、社会教育事業について話し合いを持ちました。 家庭教育の自主研究の結果をまとめ、教育長に対し、提言書を提出しました。	社会教育委員の活動により、社会教育活動が市民と行政との緊密な連携のもとに進められています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 社会教育の充実・発展のため、今後も活動を継続します。	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
社会教育指導員の活動	生涯学習課に1名の指導員を週3日勤務させ、社会教育に関する指導や団体の育成に取り組みました。	人権教育などの指導を行い、社会教育活動の推進に寄与しました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 豊富な知識を活かした指導的役割は、社会教育施設の事業推進に重要な役割を果たしており、今後も継続します。	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
成人式の開催	平成29年度に20歳となる新成人を対象に成人式を開催しました。 対象者670名のうち590名参加のもと、新成人による企画運営委員により、式典の受付や司会進行、アトラクションを行い、一部新成人による進行の妨げもなく、無事執り行うことができました。	新成人としての自覚を持つこと、自主性を高めること、市との協働という意識を持っていただくことに役立てることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 成人としての意識の啓発を図るための行事であり、人づくりとして重要なため継続します。	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
姉妹都市水戸市との交流	平成28年度に募集した小学5年生16名が、平成29年8月に水戸市へ2泊3日の日程で訪問研修を実施し、新たに平成29年度に募集した小学5年生16名が平成30年3月に水戸市小学生を受入れました。	研修を通して、両市の歴史や文化を知り、研修生どうしの交流・親睦を深め、姉妹都市としての親善友好の絆をさらに深めるとともに、郷土愛の高揚を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	①継続 青少年健全育成を推進し、長期に渡る両市の親善友好の絆を深めるために継続します。	Ⅱ-9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	A												

ふるさと 創り運動 の推進	ふるさと創り運動の団体(あすの福井県を創る協会)へ負担金と生活学校へ補助金を交付し、まちづくりや地域活性化の推進を図りました。 あすの福井県を創る協会の活動・県民のつどい開催、ラジオ体操運動の推進等 生活学校の活動…3R運動の推進、食育講習会開催等	地域での地道な活動を継続することで、まちづくりの活性化が図られています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 地域での活動の継続により、まちづくり、人づくりの活性化が期待されますので継続します。	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
小さな親 切運動の 推進	「小さな親切運動」敦賀支部の事務を取り扱うと共に補助金を交付し、町づくりや人づくりを通して市民相互の連帯意識の高揚、地域の活性化を図りました。 「小さな親切運動」敦賀支部の活動…あいさつ運動の推進、クリーン作戦実施・親子フェスティバルへの参加、実行章の推薦及び表彰等	会員の積極的な活動の展開により、支部活動が市民へ浸透し地域活性化の目的を果たしています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 地域社会のさらなる活性化と豊かな人づくりに重要な活動ですので継続します。	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
連合婦人 会の支援	敦賀市連合婦人会へ補助金を交付し、婦人としての教養を高めるとともに、青少年の育成をはじめとした奉仕活動を通して地域の活性化を図りました。 敦賀市連合婦人会の活動…交通安全街頭指導の実施等	会員の研修や仲間作りの推進により、生きがいのある地域社会の形成に努めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 地域のさらなる活性化と豊かな人づくりに重要な活動ですので継続します。	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
P T A 連 合会の支 援	敦賀市P T A 連合会へ補助金を交付し、P T Aの活性化や児童・生徒の健全育成のための諸活動を支援しました。 敦賀市P T A 連合会の活動…子どもの幸せを考えるつどいの開催、市P連だよりの発行等	児童・生徒の健全育成に関し、学校・地域・家庭の連携の強化に努めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続 青少年健全育成と豊かな地域づくりに重要な活動ですので継続します。	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
敦賀市民 憲章推進 会議事業 推進	敦賀市民憲章推進会議の事業を推進するとともに補助金を交付し、地域づくりを推進し敦賀市民としての郷土愛を高め、誇りあるふるさとづくりの推進に努めました。 敦賀市民憲章推進協議会の活動…広報紙コンクールの開催、青少年健全育成環境浄化パレード参加等	敦賀市民憲章の普及啓発の継続と、市民の郷土愛の高揚に努めることができ、心豊かな人づくりに貢献することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 心豊かな人づくりに大いに意義のある事業ですので継続します。	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
青少年育 成団体の 支援	敦賀海洋少年団、敦賀スカウト連絡協議会及び粟野子育てネットワークへ補助金を交付し、団体の育成と事業活性化を図りました。 敦賀海洋少年団の活動…ロシア人墓地清掃奉仕、カッターレースの開催等 敦賀スカウト連絡協議会の活動…子どもの国祭り出店、親子フェスティバル参加等 粟野子育てネットワークの活動…親子体験学習会、悩み事相談の実施等	青少年育成団体の育成、事業活性化に役立ち、青少年の健全育成に寄与することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続 青少年健全育成と豊かな地域づくりに重要な活動ですので継続します。	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<p>その他の活動</p>	<p>人権教育指導者研修会を開催するとともに、社会教育指導員研修会、人権教育研修会等に参加しました。敦賀市体験活動支援センターのホームページにて、情報を随時掲載し、体験活動への参加を呼びかけました。 市内全小学校（内3校合同開催）で、新入学児の健康診断の際、保護者に子育て講座を開講しました。 公民館職員研修（7回）を開催しました。</p>	<p>人権知識の向上が図られ、人づくりに役立ちました。情報誌は児童の健やかな育成に役立ちました。 新入学児童保護者の子育て基礎知識の習得に役立ちました。公民館職員の資質向上に役立ちました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続 人権教育、青少年健全育成活動は継続した活動が必要です。 また、公民館職員の資質向上は、公民館活動の活性化に必要ですので継続します。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>旧松原公民館の解体</p>	<p>平成28年11月に松原公民館を新築移転したことに伴い、旧松原公民館を解体しました。</p>	<p>解体後の活用については、文化振興課とともに検討します。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	<p>②完了 公民館を解体が終了しましたので、事業を完了します。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	A												
<p>生涯学習課の各種講座等の開催及び自主学习教室の育成</p>	<p>英会話講座 60回開催 中国語講座 30回開催 韓国語講座 30回開催 ペン字・筆ペン講座 60回開催 チョークアート講座 4回開催 マジック講座 4回開催 バイオリン講座 6回開催 合計 194回 市民かるた大会開催 こどもかるた大会開催支援 市長杯囲碁将棋大会開催 王座戦囲碁将棋大会共催 生涯学習センター文化祭(自主学习教室による)開催  各種講座及び各種自主学习教室(生涯学習センター分) 平成29年度6,066名 (9,348名) (内訳) 各種講座 2,796名 (3,842名) 各種自主学习講座 3,270名 (5,506名) ( )内はH28年度実績 ニーズの高い講座の実施に努めたことにより、幅広い年齢層の方に受講いただくことができました。</p>	<p>生涯学習センター主催で各講座を開催しました。語学講座においては、各言語の基礎知識と国際性豊かな教養を身につけました。 ペン字・筆ペン講座等においては、個人の自己研鑽のための内容、あるいは地域社会や職場でも役立つ内容の講座を学習し、生活をより楽しく、より豊かなものにするに資することができました。 今年度新たに趣味の講座を短期に開催し、生涯学習のきっかけづくりを提供することができました。 囲碁将棋大会、かるた大会においては、市民が楽しく集い、有意義な生涯学習の場とすることができました。文化祭においては、文化的素養の向上と自己研鑽に励んでいる生涯学習課、各自主学习教室の皆様への発表の場として、日頃の学習の成果を広く市民の皆様へ発表し、活力に満ちた生涯学習のまちづくり推進に役立ちました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続 生涯学習の拠点として、機能充実に努め、継続します。 男女問わず幅広い年齢層の方に参加いただける講座や行事を実施していきます。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>生涯学習センターの管理運営</p>	<p>生涯学習センターの管理運営に必要な消耗品及び電信電話料の支出しました。</p>	<p>支出の削減を念頭に、適切に管理運営を行いました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続 生涯学習センターの管理運営に必要ですので継続します。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>公民館運営審議会委員の活動</p>	<p>各公民館の年間の事業実施計画と事業報告について審議いただいた結果、公民館事業に関する貴重な意見をいただきました。 年間2回開催（8公民館） 年間3回開催（1公民館）</p>	<p>公民館活動が地域住民と行政との緊密な連携のもとに進められています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続 公民館の地域の拠点としての役割を充実・発展させるため、必要ですので継続します。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>公民館の管理運営</p>	<p>公民館が機能を充分発揮できるよう、消防設備保守点検、保安警備、自家用電気工作物保安業務、エレベーター保守点検、冷暖房設備切替保守点検、清掃業務等保守管理業務等を業者に委託することで円滑な設備等の維持が図られました。</p>	<p>各種保守点検等を業者へ委託することにより、施設の維持管理が適切に行われています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続 施設及び設備の維持に必要なので継続します。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>放課後地域子ども教室推進事業</p>	<p>市内小学校児童を対象に、地区の指導者の特技を活かした教室を、放課後や長期休業中に公民館で開催しました。また、ふれあい交流や、軽スポーツなどの教室を開催しました。</p>	<p>各公民館を活動拠点として、放課後や休日の子どもの安全な居場所づくりができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>① 継続 放課後子ども教室の充実を図り、地域子ども教室として今後も充実を図ります。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>各公民館生涯学習推進事業の実施</p>	<p>高齢者学級、女性学級等を開催するとともに、各種自主学習教室の運営を支援し、地域住民の生涯学習を推進しました。また、地区の祭、地域における防災教育、スポーツ大会、環境美化啓発活動等の事業を地域住民とともに開催し、地域づくりを推進しました。</p> <p>東浦公民館 604名 北公民館 5,238名 南公民館 4,040名 西公民館 9,865名 東郷公民館 3,924名 中郷公民館 2,797名 愛発公民館 350名 粟野公民館 12,037名 松原公民館 12,769名</p> <p>合計 51,624名</p>	<p>全館民間館長の運営のもと、地域住民と力を合わせ、身近な学習の場及び地域づくりの場を提供することができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続 より地域に密着した公民館としての機能を果たすことが必要ですので継続します。これまで、あまり公民館を利用したことのない方にも利用していただけるような行事を検討します。</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>公民館の改修のための工事</p>	<p>南公民館に男女共同参画センターが移転することに伴い、外壁、内装等の改修工事を行いました。また、粟野公民館の敷地埋設部分の給水管において、漏水がありましたので、修繕を行いました。</p>	<p>使用者への利便性を向上することができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>②完了 改修工事が終了したため、事業は完了しますが、老朽化している公民館があるので、今後予算等に応じて改修を検討します。</p>	
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<p>地域コミュニティモデル推進の実施</p>	<p>地域コミュニティモデル地区に対し、交付金を交付し、住民の自主的な地域コミュニティ活動を支援しました。</p>	<p>住民主導で、地域活性化、世代間交流、防災等の事業を通して、地域振興を図るため、事業に取り組む粟野コミュニティ運営協議会に対し、交付金を交付しました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続 住民による地域振興を今後も推進するために必要ですので、継続します。 今後は、交付体系の見直し等も含め、他地区も活用しやすい交付金として検討します。</p>	<p>II-9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

○図書館

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
図書館業務	図書館業務は、通常10時開館のところ、6月から9月までの期間に限り開館時間を30分早めて、9時30分の開館とし利用者の利便性を図りました。	資料特別整理期間を9月から、利用者が少ない2月に移行することで、利用者増につながりました。	①継続	Ⅱ-9
図書館の管理運営	館内各設備機器（消防設備等・エレベーター設備・電気工作物の保安設備・冷暖房設備等）の確実な動作と安全のため、保守管理業務を委託しました。	館内各設備機器のシステム等の確実な動作と安全のため、保守管理を行い、施設等修繕を実施いたしました。	①継続	Ⅱ-1
図書の購入	図書館として、市民が気軽に利用できるよう、要望に応えながら蔵書を整備し、市民サービスの向上に努めました。書店組合からの見計らい本及びブックキャラバンの現物選書を実施、また新聞書評を参考にして選書いたしました。 今年度の購入冊数は5,530冊、年間予約数は15,313件となっています。	市民の学習・情報発信の拠点として蔵書の充実を図り、利用者の要望に迅速に応えることができました。	②拡大	Ⅱ-9
ブックスタート事業	7ヶ月の乳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行い、絵本とバッグ（ブックスタート・パック）を手渡し、乳児期から親子で本にふれあうことの大切さを体験できるよう努めました。毎月3ヵ所（図書館・子育て総合支援センター・栗野子育て支援センター）で実施しました。 啓発ポスターの配布の結果、対象者数568名のうち446名の参加（参加率78.5%）となっています。	乳児とその保護者が向き合い、心ふれあうひとときをもつことができました。 いっしょに絵本を開く時間の楽しさを体験し、家庭においても絵本をとおしてふれあう時間をもつ契機となりました。	①継続	Ⅱ-9
情報システム整備事業	ICタグ方式の図書館システムに係る機器等の借り上げ及び保守管理業務の委託を実施し、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図りました。	IC機器を活用した図書館システムにより、利用者の利便性の向上、プライバシー保護及び、図書館業務のより一層の迅速化に努めました。	①継続	Ⅱ-1
図書利用推進事業	学校図書館・各保育園等へ図書を配架し、図書の利用を推進したことにより、学校図書館等での図書利用を推進し、児童・生徒の読書活動を推進いたしました。	学校図書館・各保育園等へ毎月図書を配架することにより、図書の利用推進を図ることができました。	①継続	Ⅱ-9

視聴覚 ライブラ リー	<p>設備が充実した視聴覚コーナーでの、サービスの提供と利用者の拡大を図るため、視聴覚資料の充実と機器等の保守管理業務を実施いたしました。</p> <p>また、視聴覚コーナーのリニューアルを実施した結果、利用者数が増加しました。</p>	視聴覚コーナーでの利用者サービスを迅速に進め、利用者の拡大に務めました。	有効性	A	①継続	II - 9
			効果性	A		
			効率性 (コスト)	B		
			効率性 (人員)	B		

○プラザ萬象

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
施設管理運営のための業務の委託及び施設の活用のための管理運営	各種業務を委託するとともに、施設維持に必要な光熱水費、修繕費、電信電話料、消耗品等を確保し、小規模修理必要箇所を修繕し、貸館として施設の維持管理を行います。	各設備を正常に使用することができました。 また、全ての舞台運営について、滞りなく完了することができ、安全で快適な館利用につながりました。	<table border="1" data-bbox="1114 394 1254 591"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続 施設の維持管理と舞台運営を確実に 行うために、継続 します。</p>	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
老朽化した施設等の改修のための工事	大・小ホール調光操作卓取替工事及び多目的室・団体室エアコン取替工事を行いました。	改修により、施設の維持が適切に行われました。	<table border="1" data-bbox="1114 689 1254 887"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>②継続 老朽化による施設 改修を、確実に行 うため、継続しま す。</p>	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

○少年愛護センター

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
青少年補導活動	<p>総勢91名の補導員が、2人1組で延べ587回、市内の量販店などの補導巡視を行い、帰宅指導、校則遵守などの声かけを、延べ1,461人に行いました。</p>	<p>青少年への声かけにより、地域の人に見守られているという意識付けを行い、豊かな心の醸成につながりました。</p> <table border="1" data-bbox="1123 315 1272 533"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ-9
実現度	A											
効果度	B											
効率度 (コスト)	B											
効率度 (人員)	B											
青少年健全育成推進事業	<p>少年愛護センターは青少年健全育成敦賀市民会議と連携して「地域の子どもは地域ですこやかに育てよう」をスローガンに各種青少年健全育成行事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月21日親子のフェスティバルを開催し、約23,000人の参加を得ました。</li> <li>・6月10日青少年育成敦賀市民大会を開催し、約600人の参加を得ました。</li> <li>・「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」作文・図画・ポスターの募集を行い、6,265通の応募があり、優秀作品を表彰しました。</li> <li>・小学生4～6年生を対象とした「ひまわり塾」を7月～10月に計4回開催し、延149名の参加を得、郷土の食に関する体験学習と工場見学等による社会学習によって見識を深めました。</li> <li>・青少年育成推進員及び一般市民を対象に家庭教育に関することをテーマとした講演会形式の研修を実施し、36名の参加を得ました。</li> </ul>	<p>各種行事の開催や広報活動により、親子、仲間、地域とのふれあいの場を提供するとともに、市民に明るい環境づくりを訴え、地域住民の積極的な協力により地域の子ども達を守り育てる意識の高揚に寄与しました。</p> <table border="1" data-bbox="1123 792 1272 1010"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ-9
実現度	A											
効果度	B											
効率度 (コスト)	B											
効率度 (人員)	B											

少年自然の家

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
少年自然の家のふれあいフェスタ事業	<p>年2回の主催事業を通して、参加した子供たちが自然の中で学び、自然の中で体験させる。その活動の中で一人一人の自主性を引き出し、責任を持って行動ができるよう指導を実施した。</p> <p>活動内容は野外が多く天候に左右されやすいことから参加者の安全に十分配慮し、臨機応変に内容を変更し事業に取り組んだ。</p> <p>また、福井大学生に協力を依頼、大学生の企画による紙すきや人形劇等を取り入れ内容を充実させた。</p>	<p>参加者については、リピーターも多く人気も高い、かつ、アンケート結果から好評であった。</p> <p>引き続き、参加者の興味を引くような内容を心がけていく。</p>	<table border="1" data-bbox="1123 383 1272 607"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	II - 9
有効性	A											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
少年自然の家の管理運営	<p>利用者が安全かつ安心して利用できるよう、各種保守点検・維持管理業務を業者に委託し、修繕箇所の補修に努めた。</p> <p>改修が必要な空調設備34台のうち9台を改修した。</p>	<p>建設して40年近く経ち、躯体施設の劣化も見られることから、目視点検等特にパトロールを強化し、危険箇所の早期発見に努め、施設の長寿命化及び安心安全を図った。</p> <p>また、修繕費の嵩むものについては、計画的に実施し、毎年の修繕費の平準化を図った。</p>	<table border="1" data-bbox="1123 768 1272 963"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	II - 9
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

## 文化振興課自己点検・評価報告書（まとめ）

文化振興課では「文化財の保護」と「文化の振興」を大きな二本柱として事業を行っています。

文化財保護事業では、文化財の保存と活用を一体的に捉え、より効率的な保護の実現を目指しています。そのために、文化財を地域の貴重な資産として適切な状態で保存するための措置を講じています。同時に、多くの市民に対して文化財の持つ魅力を発信し、活用を図るため、現在は文化財の修復整備を重点的に進めています。

文化振興事業では、民間の文化団体の活動を支援することで、市民自らが主体的に市民文化を創造する活動の支援を図っています。文化芸術及び科学技術分野で全国大会等に出場した個人及び団体を激励するとともに、全国又は世界大会で優秀な成績を収めた場合には、表彰し、活動を奨励しています。

### 1 文化財保護事業

新たに市指定文化財に2件が指定され、国登録文化財に2件が登録されました。平成29年度末現在の指定・登録件数は211件となり、目標値を達成しました。

次年度も計画的に必要な調査を実施し、指定又は登録に値する文化財については、積極的に指定・登録を行い、地域の宝である文化財の一層の保存活用を図ります。

#### （1）埋蔵文化財発掘調査

迅速かつ的確に市内の開発行為に伴う埋蔵文化財確認調査を行い、敦賀町奉行所跡及び穴地蔵1号墳出土金属製品17点の化学的な保存処理を施しました。

また、北陸新幹線建設工事に関連する埋蔵文化財保護業務については、福井県教育庁埋蔵文化財調査センターをはじめ関係機関等と協議しながら、事務を進めました。

今後も開発事業に伴う埋蔵文化財保護業務を的確に行うとともに、事業成果を文化財指定や整備に結び付けられるよう努めます。

#### （2）名勝柴田氏庭園の保存活用

柴田氏庭園保存修理事業は27年度から国庫補助を受け整備に着手しました。28年度からは建造物の修理に着手するとともに、特別見学会を開催するなど、修理期間中の公開にも努めています。今後も、柴田氏庭園保全整備委員会等の指導を受けながら、調査と併行しながら整備事業を進めていきます。

#### （3）史跡金ヶ崎城跡の保存活用

平成28年度に設置した史跡金ヶ崎城跡保存活用計画策定委員会において検討を行い、平成30年3月に「史跡金ヶ崎城跡保存活用計画」を策定しました。

今後は、同計画に基づき、保存整備の実施に向けて、整備実施計画の策定に向け

た各種調査について検討していきます。

#### **(4) 氣比神宮大鳥居の保存修理**

平成28年度に着手した国の重要文化財（建造物）氣比神宮大鳥居の塗り替え修理（美装化事業）について、所有者に対し国・県とともに補助を行いました。平成29年12月に事業が完了しています。

## **2 文化振興事業**

文化活動団体等への財政的支援や、文化芸術事業に対する共催・後援による支援、文化行事の広報・PRの実施等を実施し、市民の文化行事への参画を促しました。文化行事参加者数は22,132人となり、目標値の達成には至りませんでした。今後も事業者の広報活動を支援するなど、行事参加者数の増加を図り、市民文化の裾野の拡大に努めます。

#### **(1) 文化芸術及び科学技術等活動に対する激励及び表彰**

文化芸術及び科学技術部門で全国大会等に出場した9名2団体に出場激励費を交付しました。また、3月には全国大会等で優秀な成績を収めた5名、1団体を表彰しました。

#### **(2) 文化活動団体等の支援(氣比史学会、文化協会、水戸烈士遺徳顕彰会等)**

文化活動を行う団体等の活動を支援するため、事業者に対し補助を行いました。民間団体の自主的な活動により、市単独で事業を実施する以上に、多様な行事を実施することができました。今後も、広報支援の強化等に努め、文化芸術・歴史文化の振興を図ります。

#### **(3) 奥の細道全国俳句大会の支援**

「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を主催する敦賀俳句作家協会を支援し、「杖措きの地敦賀」のPRと俳句文化の普及を図りました。

事前投句には730句、当日投句には130句の投句がありました。また市内小学生を対象としたこどもの部では、1021句の投句がありました。

今後も「芭蕉杖措きの地」として、俳句が市民に親しまれるように、事業運営の支援に努めます。

。

## 市民文化センター自己点検・評価報告書（まとめ）

### 年間利用者について

利用総件数は518件で31,175人の利用者がありました。

前年度比では、61件の増、4人の減でした。

増加の原因の主なものとして、練習室の利用団体が新たに加わったことが考えられます。

### 施設の保守管理について

施設の管理運営では、電気設備、舞台関係設備、建築設備、消防設備等の修繕で施設修繕料の支出を行いました。建築設備は突発的な故障であったため、補正予算にて対応しました。

### 敦賀市の補助事業団体について

敦賀市文芸協会は、全3事業を開催し、計1,461人の入場者がありました。

事業数は、昨年の5事業から3事業と2事業減少しましたが、1事業当たりの入場者数は、昨年の379人から、487人と108人増加しました。

全体として、入場者の反応も良く満足のいく催事内容でした。

### 今後の方針について

平成31年度から、市民文化センターは、指定管理者制度を導入することにより施設の活性化を図り、より効率的かつ効果的な施設運営を行い利用率の向上を目指します。また、市民が芸術文化に触れる機会を拡充し、市民文化の振興につなげていきます。

## 博物館 自己点検・評価報告書（まとめ）

平成29年度は敦賀市が日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」に登録された記念として、特別展『敦賀湊と北前船交易』を開催しました。港の歴史は敦賀の歴史の根幹をなすものであり、北前船は其中でも特に取り上げ、掘り下げていく必要のある重要なコンテンツです。北前船に関しては、大規模船主に主眼を置いた基礎的な研究に加え、全国に広がる関連の各地域それぞれの実態や役割などの研究実績が蓄積されつつあり、そうした中で古来日本海側の重要港湾であった敦賀という特異な港の位置づけを明らかにしていく必要がありますが、将来的には膨大になるとされる個別の資料の精査や発見などはまだ不十分です。北前船と言う研究テーマは特別展を一度開催しただけで十分な結論や理解に至るものでは到底なく、ただ博物館としてようやく研究の端緒に着くことが出来たのは大きな成果だったと考えます。また北前船は全国的にも注目が集まり、今回の日本遺産認定を機に研究テーマとしても観光素材としても再び注目が集まることが予想されますが、遺産認定から間もなく、敦賀市としてはまだPRが軌道に乗っていなかったこと、また昨年度の大河ドラマと連動した特別展ほどの大きな話題に成らなかったことなどから、特別展入館者数は大きく減少となりました。(1,723名(28年度 3,015人))年間を通じての減については豪雪など悪天候に左右された部分もありますが、重要文化財建物のPRや、建物を活用した活動という点では不十分な部分もあったと考えています。

今後は、資料整理や調査研究等を進めるとともに、歴史博物館として、重要文化財である建物を活かした展示方法の検討や教育普及の充実を図ってまいります。また、隣接の山車会館とも連携を図り、関連性を考えた展示や活動を実施するなど、入館者増につながるよう努めてまいります。

## みなとつるが山車会館 自己点検・評価報告書（まとめ）

郷土の誇る文化遺産である山車の保存を図り、館の維持管理及び運營業務を行いました。開館から20年が経過し、経年劣化等により必要となった各種機器の部品交換や修繕を行い、来館者が利用しやすい環境作りに取り組んだほか、山車管理の利便性向上のため、山車格納庫に電動チェーンブロックを追加設置しました。また、次年度の外壁全体改修に向け特殊建築物外壁赤外線調査を実施しました。

入館者数の維持・増加への取り組みとして、「北前船寄港地・船主集落」の日本遺産認定を記念した博物館特別展に呼応し、構成文化財である別館建物のPRを行いました。また、開館20周年を機としたバックヤードツアーの開催、リピーター醸成のコンテンツである敦賀城主「大谷吉継」展示のリニューアルなど、ソフト面の充実を図るとともに、ソーシャルメディア等による情報発信の継続、「家庭の日」や敦賀まつり期間、博物館特別展等にあわせて臨時開館や無料開館を実施するなど、市民・観光客の利用促進を目指しました。

成果としては、施設の安全性と快適性を保ち、管理上の利便性が向上しましたが、昨年のNHK大河ドラマ放映の話題性による一時的な入館者の増加が収束したこと、また、台風や積雪等の悪天候の影響もあり、期待した集客効果が得られず、今年度の入館者数は8,053人と、昨年度11,595人から3,542人(30.55%)の減となりました。

今後は、会館の在り方を改めて見直した上で、北陸新幹線の利用者や外国人観光客の取り込み、広域観光等を意識した環境整備、情報発信等を検討していく必要があります。

## 文化振興課

### 【文化振興課の事務分掌】

- (1) 文化関係施設の設置及び管理に関すること。
- (2) 文化財保護審議会に関すること。
- (3) 芸術文化の振興に関すること。
- (4) 文化団体の育成及び指導に関すること。
- (5) 文化財の調査、保存及び活用に関すること。
- (6) 埋蔵文化財の調査及び発掘に関すること。
- (7) 市史編さんに関すること。
- (8) 博物館に関すること。
- (9) 市民文化センターに関すること。
- (10) みなとつるが山車会館に関すること。
- (11) その他文化振興及び文化財に関すること。

### 【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
文化財保護審議会の活動	文化財の調査、保存、指定等について審議するため、文化財保護審議会を開催しました。 市指定文化財の指定及び所要の維持管理について、専門的見地から指導及び助言を得ました。 ・審議会の開催 2回	審議会では資料そのものの学術的価値等に即して、厳正に審議が行われました。 また、指定等の措置を講じられた文化財を保存するための助言指導も行われました。	①継続	I - 14
文化財発掘調査	開発に伴う遺跡等の損壊を防ぐため試掘調査及び現地踏査試掘調査を行うとともに、出土品等の記録・保存処理等を行いました。 発掘調査の成果については、文化振興課分室にて展示を行うなど、学校教育及び生涯学習等への活用も行いました。	宅地造成等市内の開発工事については、遺構を損壊することなく、かつ事業主に大きな影響を及ぼすことなく対応ができました。	①継続	II - 11
文化振興課分室の管理運営	文化振興課分室の維持管理を行いました。 市内遺跡等の出土品洗浄・注記・接合・実測・復元等の整理作業のほか、発掘調査に関する展示や市内小学校の校外学習の受け入れ等も行い、発掘調査の成果について、学校教育及び生涯学習等への活用も行いました。 ・校外学習受入 3校 約130名	出土品の整理作業は着実に行われています。また校外学習の受入れや出土品の展示などを通じて、遺物の公開や活用が図られています。	①継続	II - 1 II - 11
柴田氏庭園保存修理事業	柴田氏庭園保全整備委員会を開催し、委員会及び国（文化庁）の指導を受けながら、柴田氏庭園の保全整備（建物の復元修復工事、庭園の植栽整備等）を行いました。 ・委員会の開催 3回	委員会で学識経験者と地域の代表者がともに検討し、修復整備事業が着実に進捗しました。	①継続	II - 1 II - 11

史跡金ヶ崎城跡保存活用計画策定事業費	史跡金ヶ崎城跡保存活用計画策定委員会を開催し、史跡金ヶ崎城跡保存活用計画を策定しました。 ・委員会の開催 6回 ・史跡金ヶ崎城跡シンポジウムの開催	委員会を開催し、史跡金ヶ崎城跡保存活用計画を策定しました。 シンポジウムを開催することで、市民等に対し保存活用意識の向上を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	II - 11
実現度	A												
効果度	A												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
氣比神宮大鳥居保存修理事業費補助金	国の重要文化財に指定されている氣比神宮大鳥居の保存修理事業について、事業者(所有者)に対し補助を実施しました。 ・事業期間： 平成 28 年 9 月～平成 29 年 12 月 ・美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業費補助金(国庫補助)を活用	保存修理事業が計画通り実施され、文化財の保護を図ることができました。 郷土を代表する文化遺産である大鳥居の修復により、観光・まちづくり分野への波及効果も期待されます。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	A	効率度 (人員)	B	②完了	II - 11
実現度	A												
効果度	A												
効率度 (コスト)	A												
効率度 (人員)	B												
名勝「けいの明神」保存活用計画検討委員会経費	国指定名勝「おくのほそ道景勝地 けいの明神(氣比神宮境内)」の保存活用計画策定に向けて、準備委員会を開催しました。 ・委員会の開催 2回	今後の計画策定に必要な課題を抽出し、委員会での共有を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	II - 11
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
文化財保護管理費	市内に所在する文化財を将来にわたって良好に保存・活用するために必要な保護管理(清掃管理・機械警備・植栽管理等)を実施しました。 ・史跡中郷古墳群、史跡玄蕃尾城跡、史跡武田耕雲齋等墓、名勝柴田氏庭園、史跡疋壇城跡、旧敦賀港駅ランプ小屋、史跡武田耕雲齋本陣跡(旧新保陣屋)、史跡駐輦の碑、第19連隊記念碑、木ノ芽古道、深坂古道、等	適切な保護管理を実施することで、文化財の保全を図るとともに、それら文化財の公開を行い市民等への文化財保護意識の向上に努めることが出来ました。 また、一部文化財について地元住民による管理が実施されており、住民による文化財保護の推進が図られています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	II - 1 II - 11
実現度	A												
効果度	A												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
西町の綱引き開催の支援(文化財保存管理補助金)	休止状態となっていた国指定重要無形民俗文化財の「敦賀西町の綱引き(夷子大黒の綱引)」の実施と事業伝承のために発足した、敦賀西町の綱引き伝承協会に対し支援しました。 10月17日 敦賀西町の綱引き伝承協会設立 1月21日 敦賀西町の綱引きを実施	協議会の設立により、行事の継承が行われ、貴重な行事の断絶を防ぐことができました。 またさまざまな団体が加盟する協議会方式により運営することで、より確実な次世代の育成・継承が期待できます。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	II - 11
実現度	A												
効果度	A												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
無形文化財保存の支援(文化財保存管理補助金)	無形民俗文化財の保存継承と後継者の育成を図るため、実施団体に対し支援しました。 ・赤崎獅子舞[赤崎獅子舞奉賛会] 相撲甚句[阿曾相撲甚句保存会] 野坂だのせ祭り[野坂だのせ祭保存会] 杳見御田植祭[杳見御田植祭保存会] すてな踊り[郷土民踊普及特別委員会] 氣比神社の春祭り・秋祭り[刀根区] 初午祭り[山区]	継承に苦勞している地域もあるが、全体としては多くの行事が継承されており、無形民俗文化財の保護と次世代への継承に繋がっています。 また、地元の努力と行政による支援によって認知度が向上しており、そのことが担い手の意識を向上させ、文化の継承に繋がっています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	II - 11
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												

私立敦賀郷土博物館の運営支援（文化財保存管理補助金）	私立敦賀郷土博物館に所蔵されている指定文化財等の管理保存のため、同施設に補助しました。刀剣類の手入れ、防虫薬の補給及び掃除、展示品の整理掃除並びに施設防火点検の実施により、文化財の良好かつ安全な保存が図られています。	補助を継続することで、良好な事業が行われ、貴重な文化財の保護が図られています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
国指定文化財管理への支援（文化財保存管理補助金）	国指定文化財の保存管理を図るため、所有者(団体)に対し補助しました。 ・国指定名勝西福寺書院庭園 庭園の植栽整備に対する補助	補助を行うことで、貴重な文化財の良好な保護が図られています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
文化財広報普及事業費	文化財保護活動への意識向上及び広報普及のために各種事業を実施しました。 ・氣比神宮大鳥居扁額展示 ・氣比神宮大鳥居ライトアップ照明設備整備事業補助金 ・玄蕃尾城跡案内標識設置	文化財を広く公開することで、文化財の魅力が向上し、市民の文化財保護に関する意識醸成を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
実現度	B												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
文化振興事業	芸術文化の振興を図るため、各種文化事業を実施しました。 ・共催、後援による支援（57事業） ・市民ギャラリーの開催（毎月展示替え） ・文化芸術活動激励費の贈呈（9名、2団体） ・文化芸術及び科学技術活動優秀表彰（5名、1団体 3/15実施）	市民ギャラリーでの作品展示によって文化活動の支援及び市民の文化意識向上につながりました。文化芸術・科学技術分野で活躍する市民を激励・表彰することで活動に対するモチベーションを高め、人材の育成及び本市の文化及び科学水準の向上を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	B	効率度 (コスト)	A	効率度 (人員)	A	①継続	Ⅱ - 16
実現度	A												
効果度	B												
効率度 (コスト)	A												
効率度 (人員)	A												
氣比史学会の支援（文化団体等補助金）	本市の歴史文化の振興を図るため、公益的な活動を行っている団体(氣比史学会)に対し支援しました。 ・主催事業 市民歴史講座の開催 (4講座 受講者延 240名) 等	歴史に立脚した市民文化を構築するため、テーマを工夫して定め、幅広い市民が郷土史への関心を持てるよう努められており、本市の歴史文化の振興に大きく寄与しています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 9
実現度	A												
効果度	A												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
文化協会の支援（文化団体等補助金）	本市の文化芸術の振興を図るため、公益的な活動を行っている団体（敦賀市文化協会）に対し支援しました。 ・主催事業（教育委員会共催・後援事業） 第37回敦賀市総合美術展 第57回市民文化祭 第49回敦賀市書道展 等 (12事業 参加者等延 11,114名) ・第27回市町文協選抜芸能祭の開催 ・市民ギャラリー展示への協力 等	多くの文化芸術事業を主催しており、本市の文化振興の推進に対する寄与度は非常に高く、今後も文化芸術の振興と次世代への文化の継承に向けて、継続的な連携を図っていくことが重要となっています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 9
実現度	A												
効果度	A												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												
水戸烈士遺徳顕彰会の支援（文化団体等補助金）	郷土の歴史文化の振興と姉妹都市水戸市との親善交流を促進するため、公益的な活動を行っている団体（水戸烈士遺徳顕彰会）に対し支援しました。 ・史跡武田耕雲斎等墓周辺の保全管理 ・水戸烈士遺徳顕彰事業の開催 ・水戸天狗党に関する普及啓発活動 ・水戸烈士記念館（鯨倉）の管理 ・姉妹都市水戸市との親善交流 等	史跡環境の保全活動、普及啓発活動により、史跡の環境保全、郷土の歴史文化の普及に寄与しています。また、親善交流活動や遺徳顕彰活動により姉妹都市水戸市をはじめとする関係自治体との交流促進に寄与しています。	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	A	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
実現度	A												
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												

つるが芭蕉紀行開催事業	<p>「杖措きの地 敦賀」を広く内外にPRし、俳句を通じた文化振興を図るため、「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を主催する敦賀俳句作家協会に対し支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成29年9月17日</li> <li>・投句数 事前投句 730句(207名) 当日投句 130句(65名) こどもの部 1021句(992名)</li> </ul>	<p>こどもの部について、市内各小学校を通じて俳句作品が寄せられたほか、児童クラブにおいて俳句教室を実施した。俳句愛好者のみならず、こどもからも多くの応募があり、俳句文化の振興と、次世代への継承が図られました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>実現度</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果度</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率度 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率度 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 16
			実現度	B									
効果度	B												
効率度 (コスト)	B												
効率度 (人員)	B												

○市民文化センター

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
市民文化センター管理運営	<p>施設の利用状況は、利用総件数518件、31,175人の利用者がありました。前年度比では、利用件数で61件の増、利用人数では4人の減となりました。</p> <p>管理運営では、電気設備、舞台関係設備、建築設備、消防設備等の修繕及び清掃業務、冷暖房保守点検等の施設維持管理の委託業務を実施しました。</p>	<p>平成29年度は、大ホールで数年に1度の頻度で行われる催事が、例年より多かったことと、練習室の利用団体が新たに加わったことが、利用回数が増えた要因となっています。なお、大ホールは催事の内容から、準備や練習の回数が多かったため、回数増の割に利用人数の増には繋がっていません。</p> <p>管理運営では、突発的な設備の故障により、補正予算で対応したものもありましたが、適正な管理により、利用者に快適な施設環境を提供できました。</p>	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	<p>⑤転換</p> <p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 9</p>
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
文芸協会事業	<p>市民の文化・芸能の向上を図るため、敦賀市文芸協会が実施する事業に補助金を交付しました。</p> <p>多様な市民のニーズに合うよう公演3事業を開催しましたが、入場者数は、1,461人と昨年を下回りました。</p>	<p>年間3事業の開催に留まり、入場者数は1,461人となりました。目標の2,000人を超えることはできなかったものの、1公演当りの入場者数は、昨年より平均で108人上回りました。</p> <p>全体として入場者の反応も良く、満足のいく催事内容となりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	<p>⑥中止</p> <p>Ⅱ - 16</p>
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											

○博物館

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
博物館協議会委員の活動	協議会を3回開催し、博物館の諸活動に対し、市民や有識者の立場からの意見を聞くことができた。	博物館の運営・活動に対して、前向きな評価やご意見をいただいている。	①継続	Ⅱ - 9
調査研究	館蔵資料や問い合わせ対応にかかる調査、市内民俗行事などの調査等。県の実施した市内古文書所在調査に全面的に協力。外部研究機関の民具資料調査の受け入れ。研究紀要の発刊。	職員の不足による調査研究業務の停滞は常態化している。今後の質の高い博物館活動のためにも、資料の整理・データ化は必要。	③拡大	Ⅱ - 9
館蔵資料の収集	敦賀市指定文化財1点を含む4点の美術工芸・歴史資料を購入した。	指定文化財の流出を防ぐことが出来たほか、新出資料等、博物館として貴重な資料を購入することが出来た。		
展示会の開催	特別展「敦賀湊と北前船交易」、吉継カフェ、史跡見学会等を実施。 入館者 10,480人 館外行事等参加者 2,365人 総利用者数 12,845人 前年比 入館者数 3,560人減、 総利用者数 3,601人減	郷土の歴史を紹介する上で重要なテーマ・コンテンツでも、単純に入館者増にはつながりにくい内容もある。見せ方や話題作り、広報等工夫が必要である。	③拡大	Ⅱ - 9
歴史遺産魅力創出事業	解説パネル、複製等の作成 屋外PR用のヴィジュアルシートを作成	博物館の今後の展示活動に有用な複製やパネルなどが充実し、また広報にもつなげることが出来た。		
博物館管理運営	清掃、空調、消防、エレベータ機器点検等業務委託にて実施した。	館内の安全・衛生は保たれている。文化財建物により配慮した施設管理を目指したい。	①継続	Ⅱ - 1
館蔵資料デジタルアーカイブ	これまでに引き続き、絵葉書や古文これまでに引き続き文書等資料撮影を進め、アーカイブの充実を図った。 取り込みデータ(カット)数 600カット	データ化する資料の幅を広げることができた。システムの更新について、検討を進めることができなかった。	①継続	Ⅱ - 16

〇みなとつるが山車会館

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類	
施設保守管理	会館施設の清掃、警備、各種機器点検等を業務委託にて実施し、安全性と快適性を確保しました。	各種機器の部品交換を行い、点検により見つかった修繕箇所は順次修繕を実施し、安全性、快適性が保たれました。	有効性	A	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 11
			効果性	B		
			効率性 (コスト)	B		
			効率性 (人員)	B		
運営業務	施設環境の維持・向上のために必要な業務を行いました。 格納庫の電動チェーンブロック設置工事、特殊建築物外壁赤外線調査を実施しました。 展示の充実、バックヤードツアー開催、博物館特別展に呼応したPRを行い、ソーシャルメディア等を活用した情報発信を継続して集客に努めましたが、入館者数は減少しました。(入館者数 8,053 人)	山車の維持管理に係る施設の機能が向上しました。 集客及び来館者サービスに努めましたが、悪天候の影響もあり、NHK 大河ドラマ放映の話題性があつた昨年度に比較して、入館者数は 30.55%減少し、平年並みに留まりました。	有効性	A	③拡大	Ⅱ - 1 Ⅱ - 11
			効果性	B		
			効率性 (コスト)	B		
			効率性 (人員)	B		

## スポーツ振興について

市民一人ひとりが、身体的、精神的、環境的に多様化する日常の中で、いかに明るく豊かで活力のある生活を送ることができるかを念頭に置き、各種スポーツ関連団体の育成・指導に力を注いで参りました。

スポーツは、競い合うこともさることながら、生涯に亘って自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならないことを自省する上でもとても意義のある方法であり、地域再生や医療費削減の手法として、非常に重いウエイトを担う位置づけとなってきております。

元気な高齢者と反して、バーチャル環境に身をおき、体力低下や生活環境の悪化に苦しむ子ども達には様々な機会の提供が必要不可欠であり、その先駆けの取り組みができたと考えております。

平成29年度の各スポーツの振興に関する事業の参加者数は9,958人（前年度14,040人）でした。昨年度と比較して大幅な減少となりましたが、これには福井しあわせ元気国体プレ大会の開催に伴うマラソン大会の中止などが大きく影響していると考えられます。第6次総合計画では平成28年度の目標年次に掲げた17,450人という目標値を下回る現状ではございますが、今年度の福井元気国体・大会の開催を契機とし、国体出場選手や各分野における優秀指導者等、影響力の大きい人物を招聘した各種セミナーやスポーツ教室等の開催を通じ、指導者や競技者の資質及び競技力の向上に繋げ、また、各種スポーツ教室やニュースポーツイベント等の開催を通じて市民がスポーツ活動に取り組みやすい環境づくりを行い、スポーツ人口の拡大等に繋げるなど、今後目標達成にむけて鋭意努力を行ってまいります。

また今年度は、平成30年開催の福井しあわせ元気国体に向け、大会時に代表になりうる中学生以上を対象に選手等育成事業を実施し、14競技の強化を図りました。今後も国体開催まで引き続き計画的に推進して参ります。

これらのスポーツ振興事業と平行しながら、スポーツを学び、スポーツで学ぶことのできる環境の整備を進めるとともに、市民総スポーツ実現のため、普及・振興を図り、人を育み、文化を創る都市づくりを目指します。

## スポーツ施設について（運動公園を除く）

市内には16の体育施設があり、平成29年度の総利用人数は160,029人（前年度168,800人）でした。第6次総合計画では平成32年度の目標年次に200,000人という目標値をかかげており、目標値からは約4万人下回り、前年度と比較しても約8千8百人の減少となりました。目標達成にむけて鋭意努力を行っております。

減少した理由として、福井しあわせ元気国体プレ大会開催に伴い、施設の利用を制限したことや、台風の相次ぐ接近や大雪等の天候不良などが大きく影響したことが考えられ、今後は、平成30年の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催を契機とし、施設利用者拡大に向けた取組みや施設の維持管理等について検討を進める必要があると考えております。

現在、ほとんどの施設で受付や清掃等を委託しており、目標到達に向け、今後は更に利用者に対する接遇の向上や安全で安心して利用できるスポーツ施設を心がけて参ります。

指定管理者制度導入につきましては、平成18年度に「きらめきスタジアム」で導入し、平成28年度から新たに5年間の指定管理者として引き続き敦賀市ソフトボール協会が選定されています。また、平成20年度からは「武道館」も指定管理者制度を導入していますが、平成25年度から5年間の指定管理者として引き続き敦賀市シルバー人材センターが選定されております。両指定管理者ともに、受付から許可書の発行などスピーディな事務の実施を行うなど、市民サービスの向上と人件費等の経費削減を図りました。

施設の主な修繕関係では、市営野球場の再開場に伴う水道管敷設修繕をはじめとして、各施設の老朽化が著しい箇所や設備について適宜修繕を行い、施設の整備促進及び維持管理に努めました。

しかし、これらのスポーツ施設を含め、効果的な施設の運営を実施するためには、一般利用者はもとより体育協会、学校関係者や地域の各種団体との連絡調整が重要となっています。

### **総合運動公園について**

市民の憩いの場として親しまれている総合運動公園は、市民だけでなく県内外から年間189,792人（前年度225,621人）の利用者がありましたが、第6次総合計画では平成28年度の目標年次に240,000人という目標値をかかげており、約5万人下回り、目標を達成することができませんでした。施設の改修等により（弓道場改修工事、プール改修工事）長期間利用できない施設もあり、併せて、プレ大会の準備から撤去期間の間、施設が利用できなかったことが主な原因と考えます。今後は更に自然の美しさ、豊かさを提供し、快適で、安全、安心な施設として利用できるように努力して参ります。

29年度については、例年と同様に施設の老朽化により修繕等が頻発し、予算を上回る結果となりました。主な修繕・工事としては、高圧ケーブル取替修繕、ちびっ子広場大型遊具等修繕、体育館排煙オペレーター修繕、陸上競技場ハンマー投用囲いウインチ取替修繕、弓道場遠的場屋根修繕等を実施しました。毎年のように各施設の経年劣化による老朽化が進み、修繕が増える傾向にあります。予算の削減に努めるため、職員による作業等で対応することも多くなってきています。また、プールにおいても、自動火災報知設備受信機修繕、更衣ロッカー修繕、非常用照明器具バッテリー取替修繕、給湯タンク及びボイラー配管修繕、ろ過送水ポンプ用モータ軸受交換修繕等、劣化により設備の故障、修繕が続いています。

さらに、平成30年の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催に向けて、大会の運営等が円滑に行われるよう、各施設や備品等の整備も行いました。

このような状況を踏まえ、今後も、運動公園施設の老朽化に伴う改築コストの平準化など計画的な整備計画を行うため、運動公園の長寿命化計画を基に、運動の拠点として、地域住民が生涯にわたり各種のスポーツ活動を主体的、継続的に実施できるようより一層の施設環境の整備、充実を図り、安全、安心な施設づくりを目指します。

ス ポ ー ツ 振 興 課

【スポーツ振興課の事務分掌】

- (1) スポーツ振興審議会に関すること。
- (2) スポーツ推進委員に関すること。
- (3) スポーツ施設の設置・管理・貸与及び廃止に関すること。
- (4) 社会体育並びにレクリエーションに関すること。
- (5) 市民の体位の向上・スポーツの推進に関すること。
- (6) 体育団体の指導育成に関すること。
- (7) 総合運動公園の管理運営に関すること。
- (8) 武道館の管理運営に関すること。
- (9) その他社会体育に関すること。

【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類	
スポーツ振興審議会の活動	スポーツ基本法第 31 条の規定に基づき、敦賀市スポーツ振興審議会を設置、施設の整備や事業、競技力向上など、スポーツの振興に関する事項について調査審議し、スポーツ振興に寄与しました。 年 3 回開催 延べ 19 名出席	スポーツの振興に関する重要事項等について、中立公正な立場から調査、審議及びその決定を行っています。	①継続	Ⅱ - 10	
		有効性			B
		効果性			B
		効率性 (コスト)			B
		効率性 (人員)	B		
総合型地域スポーツ活動推進事業	本市で唯一設立されている敦賀北スポーツクラブを支援し、活動の充実を図るとともに、テニス、軟式野球等競技協会と調整を図り教室等を開催しました。 ・一般・中高年向けスポーツ教室の開催・イベントの開催(計 5 種目、19 教室) ・ニュースポーツ普及のための各種教室・行事の開催 ・総合型地域スポーツクラブ等(3 団体)の育成・支援	スポーツ教室には募集定員を超えるものもあり、市民の健康への意識の高さが窺われます。また、北スポーツクラブは積極的に市の事業に協力・参加いただいております。活動も活発に行っています。	①継続	Ⅱ - 10	
		有効性			B
		効果性			B
		効率性 (コスト)			B
		効率性 (人員)	B		
スポーツ推進委員の活動	地域でのスポーツ活動やニュースポーツの普及・振興をはじめ、スポーツ教室の指導、各種大会の運営補助等を行いました。また、指導者を対象とした実技等の研修会に参加し、指導面と技術向上に努めました。 ・ニュースポーツ教室(グラウンド・ゴルフ、ショートテニス、スティックリング)における実技指導と普及振興 ・出前講座、体験教室等の指導者派遣(ディスクガッター、キックボール、加ーリング外) ・ニュースポーツ体験王国(平成 29 年 8 月 20 日開催) ・市主催大会への運営補助 野坂山市民登山、市民スティックリング大会 ・全国研修会(茨城県つくば市)、北陸研修会(富山県射水市)、県研修会外への参加	指導者のスキルアップを目的とした実技研修の実施と他市町との情報交換、技術交流を図るため各種大会に参加しました。また、ニュースポーツ普及のための出前講座や教室に講師を派遣することができました。	①継続	Ⅱ - 10	
		有効性			B
		効果性			B
		効率性 (コスト)			B
		効率性 (人員)	B		

スポーツ振興補助金	<p>市民の健康推進を根拠に市民登山を実施しております。また、各種大会の補助を通じてスポーツ振興を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月23日 野坂山市民登山：278人</li> <li>・7月29・30日 第25回気比の松原招待サッカー大会 45チーム558名</li> <li>・8月26・27日 第48回福井レガッタ 113クルー217人</li> </ul>	夏休み、海水浴シーズンに開催されることでスポーツによる交流だけでなく、観光や宿泊などへの経済効果も図られました。また、野坂山登山道の補修について、野坂山振興会、山の会等の協力によりシーズン中の登山者の安全が確保されました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	A												
国民体育大会選手等育成事業	平成30年の国体に参加可能な全年齢を対象に選手強化対策事業を行いました。調査により実施希望のあった14競技団体が強化選手を選定し、各競技団体主管で行う選手育成事業に対し支援を行いました。(陸上競技、水泳、ソフトテニス、卓球、バドミントン、柔道、剣道、弓道、サッカー、テニス、空手道、ボウリング、スケート、ゴルフ)	国体1年前となったことから、選手の発掘から強化指定選手を絞り込んでの強化対策へと移行することができました。また、各競技団体における国体に向けた強化対策の機運を高めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	II - 10
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
野球フェスティバルの開催	<p>市長旗高校野球大会と小・中学生軟式野球大会を同時に野球フェスティバルとして開催し、小中高一貫指導体制を確立しました。</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺南地区の高校 5チーム</li> <li>・二州地区の中学校 7チーム</li> <li>・二州地区の学童野球 11チーム</li> </ul>	野球フェスティバルは小・中・高校生が一堂に会する大会であり、全国的に稀で貴重なイベントであります。連盟、各チームの協力によりスムーズな運営ができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
県民スポーツ祭参加費補助金	<p>生涯にわたって元気で活力のあるスポーツライフを実現しようとする県民スポーツ祭の市町対抗の部へ本市選手団を派遣する敦賀市体育協会に対し強化費や旅費を助成し競技力の向上を図りました。</p> <p>平成29年6月6日から平成29年12月2日までの間、25競技 選手・役員計471名を派遣、7種目において1位の成績を収めました。</p>	参加した25競技中18種目入賞しており選手の競技力の底上げ、向上が着実に図られていると考えられます。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
スポーツレベルアップ事業	<p>本市スポーツのレベルアップを図るため、ジュニア層の強化を図るとともに、指導者を育成し、競技力の底上げを行いました。また、全国大会出場選手等の激励顕彰を行い、選手の向上心を高め、競技スポーツの技術向上に繋げました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場激励数 24団体 個人150名</li> <li>・優秀選手市長表彰事業 1団体 個人3名</li> <li>・スポーツリーダーセミナー 延べ44名</li> <li>・コンディショニングセミナー延べ323名</li> <li>・強化指定種目補助事業 7団体</li> </ul>	優秀指導者等によるセミナーの開催により指導者の資質向上、選手の競技力向上が図られおり、併せて強化指定種目補助を行うことにより、指定クラブ等が全国大会レベルで活躍しています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>スポーツ振興の支援 (スポーツ少年団)</p>	<p>スポーツを通じて心と身体を鍛え、たくましい活力に満ちた生活を営み、互いに協調、協力しあえる青少年の育成を目的に各団が特色ある活動を行っています。また団員同士の交流活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 42 団、1,204 人が団員として登録</li> <li>・ 12 月から 1 月にかけて単位団ごとに体カテストを実施 37 団 876 名が参加</li> </ul>	<p>全国的に、少子化による個々の団における団員数の偏りが顕著となっています。今後、未加入の子供にスポーツへの関心をたかめ、体を動かす楽しさを浸透させるため PR を行う必要があります。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>スポーツ振興の支援 (体育協会)</p>	<p>心身共に健康で実践力に満ちた市民育成を念願し、活動の充実と、より一層関心を深めるため、競技力の向上と市民総スポーツを目指して活動する市体育協会に対し支援を行いました。(競技力向上に関する事業 7 項目、社会体育振興に関する事業 5 項目)</p> <p>市民スポーツ祭や加盟団体による各競技大会の運営等においてもスムーズに進めることができました。また、ジュニア層の育成等に積極的に取り組むなど加盟団体独自の活動も活発に行われています。</p>	<p>各競技協会においては、従来の活動に加えジュニア層の育成など活発になってきています。しかし、活発になればなるほど活動場所の確保が困難となってきており、屋内外問わず調整が必要と考えられます。地区体協においては、スポーツを通じて世代間交流・健康増進等に大きな役割を果たしています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>国内スポーツ交流事業</p>	<p>友好都市である各務原市及び姉妹都市である水戸市の市民と敦賀市民が、スポーツを通じて友好を深めるとともに競技力の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学童軟式野球 (各務原市)</li> <li>・ 剣道 (水戸市)</li> </ul>	<p>友好都市である各務原市、姉妹都市である水戸市との交流を図るとともに、質の高い試合ができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>市民スポーツ祭の開催</p>	<p>スポーツを通じ、市民の健康と体力の増進を図り、広く市民相互の親睦と交流を深めるため、敦賀市体育協会への委託事業として 8 月 26 日、9 月 23 日、24 日、10 月 1 日の 4 日間にわたり市民スポーツ祭を開催しました。</p> <p>地区対抗種目 12 競技 オープン種目 3 競技 公開種目 1 競技 参加者数 役員・選手 1,459 人</p>	<p>地区によって、単独チームを構成できない競技もありますが、できる限り多くの選手が参加できるよう競技団体・地区体協において運営方法の見直しが行われ、多くの市民が交流することができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>各種北信越大会の開催支援</p>	<p>敦賀市において開催される北信越高等学校体育大会開催にかかる経費を支援し、レベルの高い大会を開催することで敦賀市における選手の競技力向上に繋がります。</p> <p>弓道 第 38 回北信越国民体育大会 弓道競技 平成 29 年 7 月 22 日～23 日</p> <p>軟式野球 第 38 回北信越国民体育大会 軟式野球競技 平成 29 年 8 月 25 日～27 日</p>	<p>市内の高校生も選手として参加し、競技力の向上が図られました。また、市協会・市内高校が大会運営に参画しスムーズな大会運営を行うことができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

体育館管理運営	<p>大きな大会などに利用できるよう施設利用の日程調整など管理運営を行うとともに、住宅地の中にあり個人利用も多いため、益々の利用促進に努めました。</p> <p>○利用者数 31,800人(前年度 26,558人) ※前年度増減比 119.73%</p> <p>※平成 28 年度 参考 天井落下物防止対策工事のため閉館(平成 28 年 5 月 20 日から 6 月 30 日)</p>	<p>体育館としては管理している施設の中で一番古い施設ですが、運動公園体育館に次いで広い施設であり、唯一フットサルやインドアテニスなど冬季間の利用が出来る施設でもあり、利用しやすい施設として管理運営に努めました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
野球場管理運営	<p>施設の再開場に向けた整備・修繕を実施し、場外飛球防止のため試合やバッティング練習を禁止する等、利用方法を制限したうえで、平成 29 年 7 月 28 日より施設を再開場しました再開場後も効率的な運営や安全確保に努め、施設の維持管理を行いました。</p> <p>○利用者数 940 人(前年度 0 人)</p>	<p>施設修繕や関係団体等との調整を行い、平成 29 年 7 月 28 日に再開場することが出来ました。ただし、施設全体の老朽化が顕著であり、今後の活用策に検討を進め、方針を導き出す必要があります。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
花城テニスコート管理運営	<p>手軽なスポーツとして利用していただくために安い料金設定にしており、また継続的に利用される方には年間利用券などを発行し利用促進を図りました。</p> <p>○利用者数 13,952 人(前年度 17,052 人) ※前年度増減比 81.82%</p>	<p>当テニスコートは主に個人利用、運動公園テニスコートは主に団体利用と、両施設の特徴を生かした効率的利用を推進していきます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
プール管理運営	<p>花城、愛発の 2 プールを 7 月 22 日(土)から 8 月 13 日(日)まで一般開放し、事故なく運営できました。事業の存続について内容を検討し、プール管理・安全性の確保に努めながら、管理体制の強化を推進しました。</p> <p>○利用者数 757 人(前年度 703 人) ※前年度増減比 107.68%</p>	<p>安全管理については、事故なく、また施設の大きなトラブルもなく運営できました。平成 28 年度に桜ヶ谷プールを教育政策課(栗野小学校)へ所管換えを行い、運営方法の見直しを図ったことにより、大幅な経費削減に繋がりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	B												
東浦体育館管理運営	<p>東浦体育協会による各種スポーツの練習場とした利用の他に、市内の企業・クラブからも利用があり、スポーツを通して健康増進のための施設運営を図りました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 4,560 人(前年度 4,044 人) ※前年度増減比 112.75%</p>	<p>当体育館は規模が小さく、立地的にも市街地から遠方であり、主に練習会場として使用されている状況です。平成 28 年度において、地元住民(東浦体育協会)の協力のもと管理運営方法を見直したことで、経費の削減に繋がりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	B												
栗野スポーツセンター管理運営	<p>スポーツ従事者の利用率が高い施設であり、効率的な利用促進と利用者の理解の中でスポーツの振興と推進を行いました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 32,783 人(前年度 37,986 人) ※前年度増減比 86.30%</p>	<p>体育館のほかに、ナイターのできるグラウンドもあり、市民が利用しやすい環境となっております。今後も、効率的な運用・利用推進に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 1 II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

金山体育館管理運営	<p>体育館としては小さいため、市民対象の大会等は出来ないことから、主に地区の体育行事や日常的な利用推進を行いました。</p> <p>○利用者数 5,631 人(前年度 5,888 人) ※前年度増減比 95.63%</p>	<p>当体育館は規模が小さく、駐車場が少ないことなどから各種大会としての利用はされておらず、主に練習会場としての使用されている状況で、日常的な利用推進に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
中郷体育館管理運営	<p>運動公園体育館に次いで利用者数が多い施設であり、効率的な利用促進と利用者の理解の中でスポーツの振興と推進を行いました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 40,116 人 (前年度 44,629 人) ※前年度増減比 89.88%</p>	<p>市内のほぼ中心に立地し、グラウンドと大きな駐車場を兼ね備えており、また高速道路インターチェンジが近くにあり、県大会レベルの大会が開催されることが多く、利用推進に繋がっています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
きらめきスタジアムの指定管理	<p>敦賀市ソフトボール協会が指定管理者として施設の管理運営業務を行い、ソフトボール競技の楽しさや競技力向上を図るため、指導者や審判員の講習会、ミニソフトボール教室の自主事業を開催するとともに、申し込みから許可書発行まで迅速に対応して利用者サービスを行いました。</p> <p>○利用者数 8,537 人(前年度 9,162 人) ※前年度増減比 93.17%</p>	<p>指定管理者として適正に管理運営を行っています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校体育施設開放事業	<p>3校(小学校1校、中学校2校)のグラウンドを夜間開放。4月から10月までナイター利用として一般開放しました。定期的に日程調整の抽選会を行い、スムーズにナイター利用ができるよう努めました。</p> <p>○利用者数 3,076 人(前年度 3,673 人) ※前年度増減比 83.74%</p>	<p>スムーズな運営・利用が図られておりましたが、利用者の使用予定日に台風など天候不順が重なってしまい、使用できなかった日が多くあり、昨年と比べ利用者は減少しました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
武道館運営事業費	<p>敦賀市シルバー人材センターが指定管理者(20年度から)として、施設管理及び施設利用の申込みから許可書発行まで迅速に対応し、利用者サービスを行っています。また自主事業として体操教室、ヨガ教室を開催し、利用者数の拡大に努めました。</p> <p>○利用者数 15,718 人(前年度 17,716 人) ※前年度増減比 88.72%</p>	<p>指定管理者として適正に管理運営を行っており、また自主事業を実施し、利用者数の拡大に努めています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

○総合運動公園

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
<p>運動公園 体育館改修事業費</p>	<p>体育館において、経年劣化による機械設備（空調関係）不良箇所等の修繕を行いました。また、体育館エントランススタイルについて、浮きや割れが激しいため、改修を行い、平成30年に繰越で継続して改修工事をいたします。</p> <p>【体育館機械設備修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成29年4月19日～平成29年6月30日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアファンフィルター取替</li> <li>・AC-4系統コントロールモータ交換</li> <li>・幼児体育室ファンコイル三方弁交換</li> <li>・幼児体育室系統ファンコイル用温度調節器交換</li> <li>・水中ポンプ用電磁接触器交換</li> <li>・エアハン部品取替</li> </ul> <p>【体育館冷暖房自動制御機器交換修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成29年12月14日～平成30年3月28日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動制御機器部品取替 室内型温度センサー（AC-1,AC-2,AC-3,AC-4） ダクト用温度センサー（AC-5-1,AC-5-2,AC-6-1,AC-6-2）</li> </ul> <p>【体育館吸収冷温水機分解点検整備修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成29年12月26日～平成30年3月28日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分解点検整備 高温再生器修繕、燃焼装置分解点検整備、キャンドポンプ整備、本体点検整備、総合気密検査、吸収溶液・冷媒注入、保温・保冷・塗装補修、炉材乾燥焚運転、各種部品交換</li> <li>・チューブ薬品洗浄及び渦流探傷検査 薬品洗浄（蒸発器・吸収器・凝縮器チューブ）、渦流探傷検査、各種部品交換</li> </ul> <p>【体育館自立サイン看板貼替修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成30年3月28日～平成30年3月31日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館正面看板貼替</li> </ul> <p>【体育館エントランススタイル改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成29年3月5日～（繰越）平成30年6月20日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エントランス土間タイルの貼替 1,037m<sup>2</sup></li> <li>・花壇タイルの貼替 20.6m<sup>2</sup></li> </ul>	<p>体育館の老朽化による、設備の故障や不具合に、計画的に対応することができました。</p> <p>平成30年には福井しあわせ元気国体が開催されるため、不備のないよう、また、利用者にとって安全で安心のできる快適な施設の整備に努めることができました。</p> <table border="1" data-bbox="1150 465 1294 658"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

<p>福井しあわせ元気国体競技施設整備事業費</p>	<p>平成30年の福井国体に向けて、各競技会場となる施設（プール・弓道場・野球場）の改修工事及び修繕を行いました。また、プールのコースロープにおいては、劣化が激しいため購入いたしました。</p> <p><b>【プール音響設備修繕】</b>  ・工期 平成29年4月19日～平成29年7月31日</p> <p>概要  ・ワイヤレス受信機4派用 2台  ・ワイヤレスチューナーユニット 4台  ・壁取付用ワイヤレスアンテナ 6台  ・スピーカー 13台  ・ハンド型ワイヤレスマイク 4本  ・タイピン型ワイヤレスマイク 4台</p> <p><b>【弓道場音響設備修繕】</b>  ・工期 平成29年4月19日～平成29年5月31日</p> <p>概要  ・卓上型デジタルアンプ 1台  ・卓上パワーアンプブラックアングル 1組  ・ワイヤレス受信機4派用 1台  ・ワイヤレスチューナーユニット 2台  ・CDプレーヤー 1台  ・電源制御ユニット 1台  ・ブランクパネル 2枚  ・リモコンマイク 2台  ・リモコンマイク接続パネル 2枚  ・壁取付用ワイヤレスアンテナ 2台  ・クリアホーン 2台  ・取付金具 2個  ・天井埋込スピーカー 5台  ・天井スピーカー用パネル 5枚  ・ハンド型ワイヤレスマイク 3本  ・タイピン型ワイヤレスマイク 1台  ・卓上型マイクスタンド 1台  ・フロア型マイクスタンド 2台</p> <p><b>【プール機械設備修繕】</b>  ・工期 平成29年4月19日～平成29年7月31日</p> <p>概要  ・冷温水機分解整備（WCH-1）  ・煤煙濃度計交換  ・AHU-2系統コントロールモータ交換  ・25m プールろ過機ポンプ上チェッキ弁及び流動調整弁取替  ・50m プールろ過機凝集剤タンクポンプ取替  ・オゾン反応処理装置修繕  ・50m プール集毛器修繕  ・25m プールろ過機凝集剤タンクポンプ取替  ・25m プールろ過機制御盤機器取替  ・50m プールろ過機制御盤機器取替  ・プールろ過機電動弁取替</p> <p><b>【野球場温水器ヒーター取替修繕】</b>  ・実施日 平成30年2月21日</p> <p>概要 1 墨側 10kw 3P200V 1本  3 墨側 10kw 3P200V 2本</p>	<p>平成30年の福井国体を前に、各開催競技の円滑な運営に資するため、施設の不具合や、競技を開催するうえで必要な整備や改修を行うことができ、また、施設や設備の老朽化している箇所の長寿命化に繋げることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>②完了</p>	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>【野球場身障者用トイレ及び福祉席自動ドア修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 2 月 15 日</li> <li>概要 身障者トイレ自動ドア取替 福祉席タッチセンサー取替</li> </ul> <p>【野球場記録室床及び1 塁側廊下漏水修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 1 月 30 日～2 月 1 日</li> <li>概要 記録室床貼替 1 塁側廊下漏水修繕</li> </ul> <p>【野球場ダッグアウト内フェンス修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 3 月 26 日</li> <li>概要 1・3 塁側ダッグアウト防護パッド（上・中・下部）張替</li> </ul> <p>【野球場ベンチ内人工芝修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 3 月 27 日</li> <li>概要 1・3 塁側ベンチ内人工芝（階段部）張替</li> </ul> <p>【野球場バックネット修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 3 月 29 日</li> <li>概要 ステンレス網 3.2φ×100×50 H2,215×W4,000 張替</li> </ul> <p>【野球場ベンチ内床マット修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 3 月 27 日</li> <li>概要 1・3 塁側ダッグアウト床マット張替</li> </ul> <p>【弓道場近的射場床塗装等改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 4 月 18 日 ～ 平成 29 年 5 月 25 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近的射場床サンダー掛ポリウレタン 3 回塗装 202 m<sup>2</sup></li> <li>・弓張りの設置 2 箇所</li> <li>・カウンタークリアラッカー塗装 3.2 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【弓道場改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 7 月 31 日 ～ 平成 29 年 10 月 30 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄骨鉄筋コンクリート造 （一部鉄骨造、鉄筋コンクリート造）1 階建 延べ床面積 1,114 m<sup>2</sup>の改修工事</li> <li>・上記に伴う電気及び機械工事</li> </ul> <p>【プール改修建築工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 8 月 25 日 ～ 平成 30 年 3 月 20 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建 延べ床面積 5,825 m<sup>2</sup>の改修工事</li> </ul> <p>【プール改修電気工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 8 月 25 日 ～ 平成 30 年 3 月 20 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建 延べ床面積 5,825 m<sup>2</sup>の改修に伴う 電気工事</li> </ul>			
---	--	--	--

	<p>【プール改修機械工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 11 月 20 日 ~ 平成 30 年 3 月 20 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建 延べ床面積 5,825 m<sup>2</sup>の改修に伴う 機械工事</li> </ul> <p>【屋内プール用コースロープ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内プール用セーフティールール TF-11025 11 台</li> </ul> <p>【屋外プール用コースロープ及び収納具】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外プール用セーフティールール TF-15050 12 台</li> <li>・収納具 LM-600 10 台</li> </ul>												
<p>運動公園 フェンス 整備 事業 費</p>	<p>ちびっ子広場周辺において、有害獣による被害があり、来園者の安全性の確保や、芝生への被害等を防ぐため、フェンスの設置工事を行いました。また、総合運動公園の外周フェンスにおいて、老朽化により破損箇所等が見られるため、改修工事を行いました。</p> <p>【総合運動公園広場フェンス設置工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 8 月 18 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェンス設置工 L=280.2m H=1,300 L=170.7m H=1,200 L=109.5m</li> <li>・門扉設置工 N=6 箇所 H=1,300 W=2.0m N=3 箇所 H=1,200 W=4.5m N=1 箇所 H=1,200 W=3.0m N=2 箇所</li> </ul> <p>【総合運動公園外周フェンス改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成 29 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 10 月 6 日</li> </ul> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェンス改修工 L=369.2m H=1,200 L=242.3m H=1,800 L=126.9m</li> <li>・フェンス設置工 L=14.0m H=1,200 L=14.0m</li> <li>・門扉改修工 N=3 基</li> <li>・フェンス補修工 1 式 H=1,200</li> </ul>	<p>園内において、猪の侵入により、芝生等への被害が出ておりましたが、フェンスの設置や補修を行い、利用者の安全性の確保や、施設の維持管理を行ううえで、効果的な改修を行うことができました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>②完了</p>	<p>II - 1 II - 10</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<p>運動公園 管理運営</p>	<p>運動公園内各施設を安全・安心な施設として維持するための管理運営を行いました。施設の老朽化により、予定外の修繕等が多々発生しましたが、早急に対応しました。主な修繕・工事としては、高圧ケーブル取替修繕、ちびっ子広場大型遊具等修繕、体育館排煙オペレーター修繕、陸上競技場ハンマー投用囲いウインチ取替修繕、弓道場遠的場屋根修繕等を実施しました。</p> <p>また、排水ポンプの故障や、配管からの漏水等により、施設利用に支障をきたすトラブルも発生しましたが、早急に修繕等の対応を行いました。</p> <p>さらに、簡易な修繕等は、原材料のみ購入し職員で対応するなど、予算の削減に努めました。</p>	<p>管理委託業務により、いち早く問題を見つけ、安全安心対策につなげることが出来ました。また、予算計上外の修繕等により、費用が嵩みましたが、今後も施設の老朽化により、随時修繕が発生する可能性があり、早急に対応できるよう、日々の点検などにも注意を心がけ、安全で満足度の高い施設の維持に努めます。</p> <p>利用者数は減少しておりますが、施設の改修やプレ大会等の開催に伴い施設の開放期間が減少したことが主な原因と考えます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>運動公園 プール管理運営</p>	<p>清潔で安全な環境を維持し、利用者に満足度の高い水泳場を提供するため、快適で安全なプール環境の維持・管理に努めました。経年劣化等による大きな修繕としては、プール自動火災報知設備受信機修繕、プール更衣ロッカー修繕、プール非常用照明器具バッテリー取替修繕、プール給湯タンク及びボイラー配管修繕、プール過送水ポンプ用モータ軸受交換修繕等を実施しました。</p> <p>また、シャワーやトイレ等での漏水が頻繁に起こり、今後も劣化状況に応じ、緊急に修繕や取替工事などの対応が必要となってくる考えます。</p>	<p>施設の老朽化が目立ちはじめており、管理運営及び整備計画の検討を要する。また、漏水や器具の故障が突発的に発生しましたが、早急に対応することができました。</p> <p>利用者数については減少しておりますが、改修工事により、4か月間施設を閉鎖していたことが主な原因と考えます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>運動公園 プール改修事業費</p>	<p>プールの中央監視設備及び照明制御設備について、老朽化によるスイッチの誤作動が発生し、伝達速度の遅滞が顕著に見られ、正常に機能しないため、中央監視設備及び照明制御設備の修繕を行いました。</p> <p>【総合運動公園プール照明制御設備及び中央監視設備修繕】</p> <p>・工期 平成 29 年 4 月 19 日 ～ 平成 29 年 7 月 31 日</p> <p>概要</p> <p>・中央監視設備</p> <p>パネル型コンピュータ 1 式 コンピュータブロック 1 式 パネル型アナンシェータ (80 窓) 1 式 ブランクパネル 1 式 ソフト作成 1 式</p> <p>・照明制御設備</p> <p>パネル型コンピュータ 1 式 コンピュータブロック 1 式 パネル型アナンシェータ (320 窓) 1 式 ブランクパネル 1 式 ソフト作成 1 式</p>	<p>プールの中央監視設備及び照明制御設備の入替を行い、誤作動や不具合が解消され、施設の管理運営を円滑に行うことができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>②完了</p>	<p>Ⅱ - 1 Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

## 平成29年度 国体推進課 自己点検・評価報告書（まとめ）

### 国体・大会に向けて

平成30年に開催される福井しあわせ元気国体（第73回国民体育大会）・福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）では、敦賀市民の総力を結集し、一致団結して国体・大会の成功を目指します。また、国民体育大会の開催を契機に、市民一人ひとりがゆとりと豊かさを実感できる真の生涯スポーツ社会の実現、活力のある地域づくりを進めるとともに、本市の掲げる「世界をつなぐ港まち みんなで拓く交流拠点都市 敦賀」の実現にむけての原動力となる大会を目指します。

### 具体的な取り組み

#### ○敦賀市実行委員会

平成29年5月10日、平成29年度の常任委員会及び総会を開催し、28年度の事業報告、29年度の事業計画等を承認いただき、あらためて各関係団体が丸となって国体・大会を推進していくことを再確認しました。

#### ○プレ大会の開催

平成30年度の国体開催に向けた競技運営や会場設営など様々な業務のリハーサルを兼ねて、競技別のプレ大会を開催しました。また、プレ大会の反省を踏まえて競技団体・関係団体と調整を重ね、国体における競技運営、会場設営等の準備業務を進めました。

#### ○先催市町への視察等

敦賀市での国体・大会を円滑に進めるため、国体の視察および国体後に開催市町が後催市町を対象に開催する事業概要説明会に参加し、国体開催までの準備に対する情報の収集に努めました。

#### ○福井県・各関係団体との連携

福井県及び各競技団体と連携し、競技施設の整備や競技役員・競技補助員・競技用具等の配備等について協議・調整を進めました。

宿泊・輸送・おもてなし等の受け入れ環境の整備、広報・市民活動・ボランティア活動等の市民あがての啓発活動に向けて、福井県及び各関係団体と連携し、業務を進めました。

いずれの業務についても国体開催まで随時協議を重ね、よりよい競技環境の整備に努めます。

国 体 推 進 課

【国体推進課の事務分掌】（人事考課：様式1「組織の基本課題」より）

- 1 国体の円滑な運営
- 2 国体開催に向けた施設、競技用具等の整備
- 3 敦賀市実行委員会の運営
- 4 福井県国体推進局、敦賀市開催競技団体等との連携及び広報啓発
- 5 先催市町への情報収集及び後催市町への情報提供

【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
国民体育大会関係経費	平成30年に本県で開催される第73回国民体育大会及び第18回全国障害者スポーツ大会に向けて、県・県内各市町及び競技団体と連携して準備を進めるとともに、えひめ国体の視察及び国体後に開催された後催県への説明会に出席し、国体開催にあたっての情報収集を行いました。	本市における開催競技の円滑な運営を期するため「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会敦賀市実行委員会」に対し支援を行い、県及び競技団体等と連携して準備を進めました。	①継続	Ⅱ - 10								
		<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>A</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	A		
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	A											

# 敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書に対する外部の知見

東洋大学経済学部 井上 武史

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正を受けて敦賀市教育委員会で行われる自己点検・評価について、意見を述べることにしたい。

今回の評価対象となるのは、平成29年度に実施された事業である。第6次敦賀市総合計画の基本構想や後期基本計画、実施計画等に位置づけられた事業について、その着実な実施と成果の実現が求められる。

なお、第6次敦賀市総合計画後期基本計画が平成28年度より開始された。まだ計画期間の前半ではあるが、数値目標と実績を比較すると大きな乖離が見られる分野が散見される。目標年度までに目標に達するまでのプロセスを意識しながら、事業の評価と成果に結びつけることが求められる。

こうした点を踏まえて、今回の評価に対する意見と指摘すべき項目について意見を述べる。

## 1. 敦賀市教育振興基本計画と進行管理及び自己点検・評価調書の見直しについて

平成28年9月に「敦賀市教育振興基本計画」が策定され、「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」が昨年に引き続き20の基本施策ごとに作成されている。

成果の目標に対して実績が毎年記載され、進捗状況が明確になっている点は評価できる。しかし、昨年度も指摘したが、既存の自己点検・評価との関係をどう構築するかが重要である。職員の事務負担を増やさず、かつ、市民に分かりやすいものとしなければならない。昨年度に提案した内容は修正項目が多かったためか今回は実現しなかったが、今回は特に重要な点を中心に、以下のとおり着実な見直しを提案したい。

特に修正が必要な欄は、「計画の分析と評価」である。この欄では、進捗状況が遅れている場合はその原因と対策を明らかにする必要があるが、説明が必ずしも十分ではない。「主な実施内容」では、基本施策に資する事務事業の名称と決算額を列挙し、進捗に寄与する取り組みがしっかり行われているかどうか判断できるようにすべきである。事務事業に不足する部分があれば、進捗も遅れることになるから、結果（進捗）と原因（事業）の関係が明確になる。現在は事務事業の内容が書かれているが、どの事務事業が該当するかが分かりにくい。そこで、事務事業の名称を記載し、内容を個票で確認できる形にしてはどうか。

次に、「計画の実施や目標達成に向けた今後の課題」は、事務事業がしっかり行われているかどうか、事務事業以外の要因なのかなど分析を詳しく記載する必要がある。そして、「課題に対する今後の方向性」は、分析の結果を受けて今後どうするかを記載する。今後の事務事業に反映すべきものは、どの事務事業を改善・充実していくか

を検討し、記載する。このような形で、進捗状況の説明・分析と改善に役立つような資料としていただきたい。

この調書を進捗状況の説明を中心としたものにするならば、これまで行ってきた「第6次総合計画 後期基本計画の数値目標との比較」の掲載をやめて、この調書を用いた説明で置き換えても良い。いずれの目標が重要なのかを教育委員会で判断し、掲載を1つにしても問題はないと考える。個人的には、「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」の方が、これまでの経過が分かることと、分析などを記載する欄があることから、こちらに一本化するのも一考に値する。

## 2. 「敦賀市教育委員会自己点検・評価調書（個票）」の見直しについて

個票の作成は担当課が行うこととなっているが、課によって記載に差が見られたので、とりまとめ担当課は特に以下の点について十分な記載を指導していただきたい。

「事務事業の概要と取り組み状況」の「(具体的な取り組み状況)」の欄は、金額や内容の詳細を記入する欄である。欄が小さい中で、金額を細かく記載すべきか、それとも内容を細かく記載すべきかは、説明責任を果たすことを基本的な目的として、事業の性質によって判断する必要がある。事業によっては、金額が細かく記載されているものの全体像が把握しにくいものも見られたので、事業の性質によって記載内容を工夫していただきたい。

「成果の分析と評価」はPDCAサイクルの最も重要なC (Check) の部分である。この欄は4つに分かれているが、「昨年度個票の「今後の方向」で「すぐに取り組む事項」とした内容」の欄は、昨年度個票の「今後の方向」の「すぐに取り組む事項」の部分を転記し、取り組みができた部分を次の「(具体的な取り組みにつながった点とその内容)」に、できなかった部分を「(具体的な取り組みにつながらなかった点とその内容)」に記載するものである。そして、これらを総括したものが「(総合評価)」となる。以上の仕組みを理解せずに作成されている個票が多く、PDCAサイクルが分かりにくくなっている。担当課が個票を作成する際に、こうした点に留意して記載するよう指導をしていただきたい。また、提出された個票がそのように記載されているかどうかを確認していただきたい。

「今後の方向」は、今後の改善事項を述べる欄である。そのためには、「成果の分析と評価」をしっかりと行い課題を明らかにしなければならない。継続・経常事業は毎年大きな課題が出るとは限らないが、どんな小さなことでも何らかの改善は行われるはずである。したがって、「今後の方向」は、毎年内容が変わり、それによって少しずつ改善が蓄積されていることが理解できる。「今後の方向」欄が毎年同じ内容では、何も改善がなされていないことと同じである。小さな点でも改善の内容を毎年違ったものにして、次年度の取り組みにつなげるようにしていただきたい。

「今後の方向」の「中長期的な検討課題（3～5年の期間）」の欄は、すぐに解決することが困難な課題について記載するものだが、毎年少しずつ解決に向けての進捗が必要なものである。同じことが毎年書かれていると、進捗していない（何も対応していない）ことと同じになってしまう。そこで、どのようなプロセスで進めていくかを明確に記載していただきたい。

### 3. 各課の評価内容に関する意見

各課の評価についてヒアリングを行った結果、評価内容について以下のとおり意見を述べる。

#### ① 教育総務課

- ・所管する事務事業の量と比較して「まとめ」の記述が他課よりも少ないので、「まとめ」欄だけで課の全体像が把握できるように記載を充実していただきたい。

- ・評価の所管課として他課の資料がしっかりと記載されるよう、とりまとめ課として、各課には照会の段階から適切な記載要領を作成していただきたい。また、各課が作成した資料が記載要領のとおり書かれているかどうかのチェックも十分にいただきたい。前年度と同じ内容では各課の個票への指摘事項が反映されないことになり、同じ指摘を繰り返さなければならなくなるため、対処をお願いしたい。

#### ② 学校教育課及び所管課

- ・所管する事務事業の量と比較して「まとめ」の記述が他課よりも少ないので、「まとめ」欄だけで課の全体像が把握できるように記載を充実していただきたい。また、数値や事例などを多く挙げ、具体的な記載をお願いしたい。

- ・教育総務課と学校教育課の設置は、これまでも何度か繰り返し行われてきた。今回の設置に当たっての背景や効果などを記載していただきたい。

- ・スクールソーシャルワーカーは県の委託事業であるが、「今後の方向」は県の動向次第となっている。確かに現状ではそのとおりだが、市としてどのように評価するのかを示していただきたい。多くの県補助・委託事業に共通する問題だが、県の委託が途絶える可能性があり、あるいはそうならないように県に働きかける場合でも、市としての評価がベースになる。また、そのように記載しないと「(無駄であるが) 県の委託があるので続ける」という消極的な姿勢と受け取られる場合があるので、留意が必要である。

- ・学校間情報ネットワークシステム管理運営費で、セキュリティなど未整備の部分があると指摘されている。それにどう対応するかの記載を「今後の方向」欄に示していただきたい。

- ・学校給食センターにおいて、食材の地産地消が年々進んでいることは高く評価できる。

- ・学校給食のあり方の検討は、給食センター全体に係ることなので、「まとめ」欄に

詳細に記載されている点は高く評価できる。半面、ハード面では施設だけでなく配送車の老朽化なども見られ、今後は大規模な更新が必要になる。財政負担の最小化と平準化が図られるよう、早めの検討をお願いしたい。

## ②生涯学習課及び所管課

・「まとめ」に「数値目標の達成状況と分析」が明確に記載されている点は評価できる。一方で、目標達成できていない項目がありながら、今後の対応策には分析が生かされていらないように思われる。目標達成のための分析を行い、改善が見込まれる具体的な対応策を示していただきたい。

・敦賀市社会教育委員の会による提言書の実践は高く評価できる。今後とも継続をお願いしたい。

・公民館の利用者が固定化・高齢化する中で、短期的な結果の追求だけでなく新たな利用者を開拓する取り組みが進められている点は評価できる。すぐに数値に結びつくものでないとしても、今後とも積極的に取り組んでいただきたい。

・「取組状況と成果」の欄の説明の一部が個票よりも詳しく書かれていた。全体から個へと掘り下げていく構成となっており、個票が最も詳細に書かれているべきなので、個票の記載を最も詳しくしていただきたい。

・小さな親切運動推進事業費補助金における事務局運営の支援は確かに中長期的な検討課題だが、少しずつ進展していくようなロードマップを描くことで時間はかかっても確実に実現できると考えられる。

・放課後地域子ども教室を愛発公民館で実施した点は評価できる。ただし、参加者が少なかったことから、今後、地域のニーズを把握しながら工夫を重ねる中で、一定の成果をあげるよう取り組んでいただきたい。

・プラザ萬象において、大雪等の影響があったものの稼働率が前年度より向上した点は評価できる。一方で、集客数が低い利用の増加は、利用者（主催者）の集客能力による面があるものの、後援や共催等の活用、各所における広報スペースの確保、ホームページでの案内（リンク）など、行政としてサポートできる部分もあると思われる。主催者の意向を尊重しつつ、可能なサポートをお願いしたい。

・少年愛護センターにおいて、「まとめ」には数値の記載や分析が詳しく行われており、評価できる。

・補導員の研修参加が思わしくないとのことだが、補導員の時間的な制約がある中で、必ずしも出席を要しない動画配信などの方法もあると考えられる。また、研修に重要

な意義があるのならば研修への出席に報償を支払うことも検討の余地がある。

- ・親子のフェスティバルは、諸事情が重なりパレードなどの変更を余儀なくされた。これを契機にして、次年度以降のあり方についても全体を見直すことができると考えられる。

- ・少年自然の家において、空調設備工事の影響で利用者が大幅に減った点はやむを得ないが、これを機に PR の方法も今までとは違った方法を取り入れるなどの工夫が必要である。「まとめ」には、具体的な PR の方法を詳しく記載していただきたい。

- ・少年自然の家は国体での利用もあるということなので、国体を新たな利用者開拓の契機としていただきたい。国体での利用者アンケートをとって、県外からの利用者増加に向けた情報を獲得してはどうか。

- ・図書館において、入館者数の増加に細かな工夫を重ねている点は高く評価できる。

- ・まちづくりの拠点としての図書館のあり方の検討は、中長期的な課題ではなく、すでに実践に移すべきものである。他市町の取り組みも参考にしながら、あくまでも敦賀市としての拠点づくりに努めていただきたい。

#### ④文化振興課及び所管課

- ・ヒアリングの結果、文化振興課の「中長期的な検討課題」の中に、一部着手済のものがあつた。先送りになりがちな課題にいち早く取り組んでいる点は評価できるが、着手済の部分と残された部分をそれぞれ記載することで、途中経過が分かるように配慮していただきたい。

- ・市民文化センターにおいて、指定管理者の導入という大きな変化に至った経緯を詳しく説明していただきたい。特に、評価との関連が明確になるよう、数値目標との関係や個票の記述と整合性をとった内容にしていただきたい。

- ・文芸協会事業費補助金の個票が「中止」となっているが、個票の内容からは中止を要するような印象はない。どのような評価の下で中止の判断に至ったかが理解できるように記載していただきたい。

- ・博物館、みなとつるが山車会館において、入館者数を数値目標として掲げているが、文化施設としての意義は入館者数だけでは測れないとの指摘はその通りである。博物館は見学者アンケートの満足度を目標としているが、みなとつるが山車会館も次回の目標設定の際に同様の形に修正しても良いと考える。

- ・間近に迫った国体の開催を始め、クルーズ客船の寄港や人道の港敦賀ムゼウムの整

備、北陸新幹線の開業などを機に、観光客の増加が見込まれる。予算や人員の措置を前提として展示の英語表記などインバウンド対応や、資料の整理などの対応を可能な限り進めていただきたい。

#### **⑤スポーツ振興課及び所管課**

・数値目標の達成について、前年度はプレ国体の影響が大きかったのはやむを得ないが、その影響を取り除いた実質ではどうなのかを示していただきたい。その際、数値の内訳（施設ごと、イベントごと等）の表（今年度の数値と対前年度比較）があると、より分かりやすくなり、対応策も示しやすくなるのではないか。

・国体終了後の敦賀市のスポーツ振興策について、国体推進課と協議・連携の上で検討していただきたい。

・国体推進課において、すでに一部の国体プログラムが開催されており、これまでの準備を十分に発揮して、まずは大会を盛り上げていただきたい。

・国体終了後の敦賀市の新たなスポーツ振興策について、スポーツ振興課と協議・連携の上で検討していただきたい。

# 敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書に対する外部の知見

福井県立大学学術教養センター 黒田 祐二

## はじめに

報告書やヒアリングを通して、各課が第6次総合計画後期基本計画に関して真摯な取り組みを行っていることや、自己点検・評価をしっかりと行おうとしていることが窺えた。これらの取り組みや姿勢について敬意を表したい。

また、平成28年度から「敦賀市教育振興基本計画」についても自己点検・評価が行われることとなった。本計画の中には、学校教育を充実させるための基本施策が含まれているが、これらの施策についても自己点検・評価することになった。学校教育の充実は教育委員会の最も重要な業務であるため、この点検・評価が今後ともしっかりと行われることを願っている。

以下に、報告書とヒアリングの結果を踏まえながら、全体と各課に分けて意見を述べる。なお、「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」についてもいくつか意見を述べたい。

## 1. 全体に関する意見

### ①第6次総合計画後期基本計画の自己点検・評価に関して

まとめや個票を見ると、多くの箇所でPDCAサイクルに基づいた自己点検・評価がなされていることが窺える。また、いくつかの課において、①目標値と比較するのみならず、過去数年度の実績と比較しながら平成29年度の実績の増減を記述する、②その要因分析を行う、③要因分析の結果を踏まえて今後の課題を明確にする、という点がはっきり読み取れる記述がある。このような記述は自己点検・評価において大変重要であると考えられ、これから増えていくことを期待したい。

その一方で、いくつかの課において、取り組みや成果について記述されているものの、課題について十分に分析・記述していないところがあった。自己点検・評価においては課題の明確化は必須であり、しっかりと記述して頂きたい。

また、「後期基本計画の数値目標との比較」の一覧表を見ると、目標値からかなり隔たっている数値が複数あることも懸念される。目標年度である平成32年度まで十分な期間があるため、今後の取り組みに期待したいところである。

### ②敦賀市教育振興基本計画の自己点検・評価に関して

学校教育課の基本施策②・④・⑤・⑥・⑧に関する数値データは、教育振興基本計画で柱となっている教育がどのくらい推進されたかを示すものとなっている。結果をみると、年々数値が向上しているものが多くあり、目標値に到達しているものもある。

これらの点は高く評価できる。

ただし、教育の推進状況を数値データから読み取る際には十分な注意が必要であることも申し添えたい。特に、データがどのレベルのことを表したのか（表面的なものか、それとも、より実質に関わるものか）、データをどのような方法で収集したか、などの点に留意する必要がある。例えば、ある教育的なプログラムがどのくらい推進されたのかを表すデータとして、そのプログラムの実施率（市内の全ての学校の内、何校がそのプログラムを実施したか）や参加率（どのくらいの子どもたちがそのプログラムに参加したか）を用いたとする。この場合の実施率や参加率といったデータは表面的なものであり、実質的な推進状況（実質的な効果）を必ずしも表しているわけではない。例えば、実施率や参加率が高かったとしても、実施したプログラムに参加した子どもたちがしっかり身につけていない場合もある。また、データの収集方法として、児童生徒にアンケート調査を用いた場合には、アンケート項目の妥当性や回答バイアスについて留意する必要がある。客観的な指標である数値データを利用することはとても大切であるが、同時に、その適用範囲や限界についても十分にご留意頂きたい。

課題に関して、昨年度も指摘したが、調書の中の「基本施策」と「計画目標」が十分に対応していないところが散見される。計画目標は、基本施策を実現するために掲げられた目標であり、計画目標を達成することで基本施策が実現されたと判断できるようになっていると思われる。もしそうであるなら、基本施策の内容と計画目標の内容は十分に一致している必要がある。基本施策と計画目標との対応性について改めて検討頂き、対応が十分ではない計画目標については改善することが必要であろう。

## 2. 各課に関する意見

### ①教育総務課

- ・教育委員会が定期的開催されるなど、運営がしっかりなされている。
- ・角鹿中学校区の小中一貫校の設置に向けて、着実に準備が行われている。
- ・その他の所管事務についても滞りなく行われていることが読み取れる。
- ・まとめにおいて、取り組み・成果・今後の方向性について記載されているが、課題についての記述が見当たらない。PDCA サイクルが明確になるように課題についても記述する必要がある。
- ・今後とも引き続き、子どもたちの安全を守ったり学習の促進を図ったりできるように、学校施設の点検・整備を進めて頂きたい。

### ②学校教育課

- ・敦賀市「知・徳・体」充実プランに基づいた取り組みがなされている。
- ・学校不適應の解決に向けて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校支援員の配置がなされている。
- ・就学奨励費を支給することにより、経済面で困難を抱える保護者の負担を軽減する取り組みがなされている。
- ・「敦賀市学校給食あり方検討委員会」において、学校給食費の改定について十分に議論され、決定された。保護者への周知もしっかり行われ、問題なく給食費の改定が実施されたことが評価される。
- ・まとめにおいて、取り組み・成果・今後の方向性について記述されているものの、課題についての記述が見当たらない。個票において課題が挙がっているため、まとめにおいても（PDCA サイクルを明確にするために）課題を記述する必要がある。
- ・個票などにおいて、事務上の成果を越えて、「子どもの適応が図られた」「教師の指導力が向上した」等のように教育的な効果があったと記述する際には、根拠となるデータや資料を記載することが望ましい。
- ・「敦賀市教育振興基本計画」の基本施策と計画目標とが十分に合致していないと思われるものがある（例えば、基本施策②「自ら考え、行動する力を身につける教育の推進」と計画目標「ふるさと学習に興味を持つ子どもたちを増加させる」、基本施策④「個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進」と計画目標「特別支援学級や通級指導教室と学年・学級における相互の交流学習を推進する」）。計画目標には基本施策の方向性をより直接的に反映する目標を掲げることが必要ではなからうか。

### ③生涯学習課

- ・過去の実績との比較や数値目標との比較でH29年度の実績の分析がなされている。この中で、実績の増減の分析、課題の明確化、今後の方向性がはっきり記述されている。これらの点は大変評価できる。
- ・家庭教育に関する研究の成果を提言書として教育長に提出し、その成果に基づいた取り組みとして思春期子育て講座を開催した。成果をまとめるのみならず、それを実際に活用して市民に還元することは、大変有意義なことであり、高く評価できる。
- ・住民のニーズに合った講座や男性をターゲットにした講座を新規に開講するなど、主催事業への参加人数を増加させるための努力がなされている。この点も大変評価で

きる。

- ・資料特別整理期間を来館者数の少ない2月に移行するなど工夫したことにより図書館利用者数が増加したこと，PR方法を工夫したことによりブックスタート参加率が上昇したことが高く評価できる。

- ・様々な工夫と努力がなされているが，公民館活動への参加者数が目標値と離れているため，今後の取り組みを期待したい。また，プラザ萬象と少年自然の家では，利用者数が大きく落ち込んでいるため，今後の取り組みを期待したい。

- ・「敦賀市教育振興基本計画」の基本施策と計画目標とが十分に合致していないと思われるものがある（例えば，基本施策⑫「地域等と連携した青少年の健全育成」と計画目標「生涯学習施設や図書館の利用者数を増加させる」）。計画目標には基本施策の方向性をより直接的に反映する目標を掲げる必要がある。

#### ④文化振興課およびその所管課

- ・指定・登録文化財の件数が目標値を達成した。博物館の見学者アンケートの満足度も目標値を達成した。また，山車会館の利用者数は目標値に届いていないが，入館者数の維持・増加のための取り組み内容と平成28年度から入場者数が減少した要因について詳細に記述されている。これらの点は高く評価できる。

- ・文化行事参加者数は，平成28年度からおよそ3,700人減少したとのことであるが，この要因の分析がまとめにおいて記述されていない。ヒアリングの結果から，敦賀市文芸協会が実施した公演が平成28年度から2つ減少したことが関係しているということがわかったが，この点も含め，減少要因についての分析と記述が必要である。

#### ④スポーツ振興課およびその所管課

- ・まとめにおいて，目標値と比較した実績が記述されている。また，現状の分析，課題，今後の方向性についてもしっかり記述されている。これらの点は大変評価できる。

- ・国体のプレ大会や準備等により，施設の利用者数や事業の参加者数が減少した。平成30年度の国体を契機にしたスポーツ振興の取り組みに今後期待したい。

#### ⑤国体推進課

- ・国体の開催に向かって着々と準備が進められていることが窺える。

## 敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価

### ■なぜ自己点検・評価をするのか？

- ◇ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により規定されています。
- ◇ 法の趣旨は、市民への説明責任、効果的な教育行政の推進にあります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会の責任体制の明確化が謳われ、平成20年4月1日から、教育委員会の活動の自己点検・評価を行うことが義務付けられ、議会に報告し公表することとされました。

また、これを行うに当たって、学識経験者の知見を活用することとされました。従って、当市においても、平成20年度から自己点検・評価を実施しています。

**【参考】** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

**第26条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### ■何を評価するのか？

- ◇ 教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況について評価することになります。

教育委員会の権限に属する事務とは次のとおりです。

地方自治法 第180条の8に教育委員会の事務について規定があります。この中の「別に法律の定めるところ」とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」も指しており、第21条に教育委員会の管理・執行する事務の内容が規定されています。

【参考】 地方自治法 抜粋

第180条の8 教育委員会は、別に法律の定めるところにより、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分取扱いに関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行する。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋  
(教育委員会の職務権限)

第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。  
(事務の委任等)

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。
  - (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
  - (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
  - (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
  - (4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
  - (5) 次条の規定による点検及び評価に関すること。
  - (6) 第27条及び第29条に規定する意見の申出に関すること。
- 3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第1項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。
- 4 教育長は、第1項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第1項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律を受け、敦賀市教育委員会教育長事務委任規則及び敦賀市教育委員会事務局組織規則を定め、事務の具体的な内容を示しています。また、施設の設置条例において、設置の目的など重要な事項を規定しています。

【参考】 ○敦賀市教育委員会教育長事務委任規則

平成 15 年敦賀市教育委員会規則第 13 号

(教育長への委任)

第 2 条 教育委員会は、その権限に属する事務のうち、次の各号に掲げる事項を除き、教育長に委任するものとする。

- (1) 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関(以下「教育機関」という。)の設置及び廃止に関すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐(同等の者を含む。)以上の職員の任免に関すること。
- (6) 前 3 号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- (7) 重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。
- (8) 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
- (9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。
- (10) 法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。
- (11) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (12) 児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
- (13) 教科用図書の採択に関すること。
- (14) 文化財の指定及び解除に関すること。
- (15) 請願、陳情、訴訟及び異議申立てに関すること。
- (16) 教育に関する表彰に関すること。
- (17) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

教育委員会の事務と教育長への事務委任の関係は下表のとおりです。

(1)教育委員会の事務と教育長への事務委任の関係	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)	敦賀市教育委員会教育長事務委任規則
教育委員会の職務権限	教育長に委任されない事務
(1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、 <b>管理</b> 及び廃止に関すること。	1 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。
(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。	2 教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関（以下「教育機関」という。）の設置及び廃止に関すること。
(3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	3 県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。
(4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。	4 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
(5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、 <b>教育課程</b> 、 <b>学習指導</b> 、 <b>生徒指導</b> 及び <b>職業指導</b> に関すること。	5 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐（同等の者を含む。）以上の職員の任免に関すること。
(6) <b>教科書</b> その他の教材の取扱いに関すること。	6 前3号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
(7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。	7 重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。
(8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。	8 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
(9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。	9 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。
(10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。	10 法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。
(11) 学校給食に関すること。	11 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
(12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。	12 児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
(13) スポーツに関すること。	13 <b>教科用図書</b> の採択に関すること。
(14) 文化財の保護に関すること。	14 文化財の指定及び解除に関すること。
(15) ユネスコ活動に関すること。	15 請願、陳情、訴訟及び審査請求に関すること。
(16) 教育に関する法人に関すること。	16 教育に関する表彰に関すること。
(17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。	17 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
(18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。	
(19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。	

(注) .....点線は、一部分関連するもの

◇ 評価の対象となる事務は、「評価項目」として次のように分類します。

私達は、毎日、法令や規則に基づき事務を執行しています。事務の自己点検・評価を行う場合は、具体的で誰でも理解できるよう分類する必要があります。

それでは、どのように分類し、どのような評価項目を設定するかということですが、先に述べたように私達は法令に基づいて仕事をしています。仕事には必ず費用が伴いますので、予算の区分に従い分類することが簡単で評価しやすい方法です。また、毎年9月議会において、前年度の「主要な施策の成果に関する説明書」により議会へ報告しています。

この自己点検・評価報告書も、議会へ報告することとなっていますので、これを利用することによって議会への説明も容易になります。

従って、予算の事業名の小事業までを、「評価項目」とし、評価項目ごとに評価調書を作成します。

#### ■誰が評価するのか？

◇ 事務の点検・評価の担当者は、事務分掌における主担当者を中心に課（所）内にて一次評価します。 ※評価調書の作成

◇ 評価調書を教育政策課にて取りまとめたのち、教育委員会が二次評価します。

※ 教育委員会の職務として、教育委員会で審議します。

#### ■いつ評価するのか？

◇ 当該年度の翌年に、評価を実施することになります。

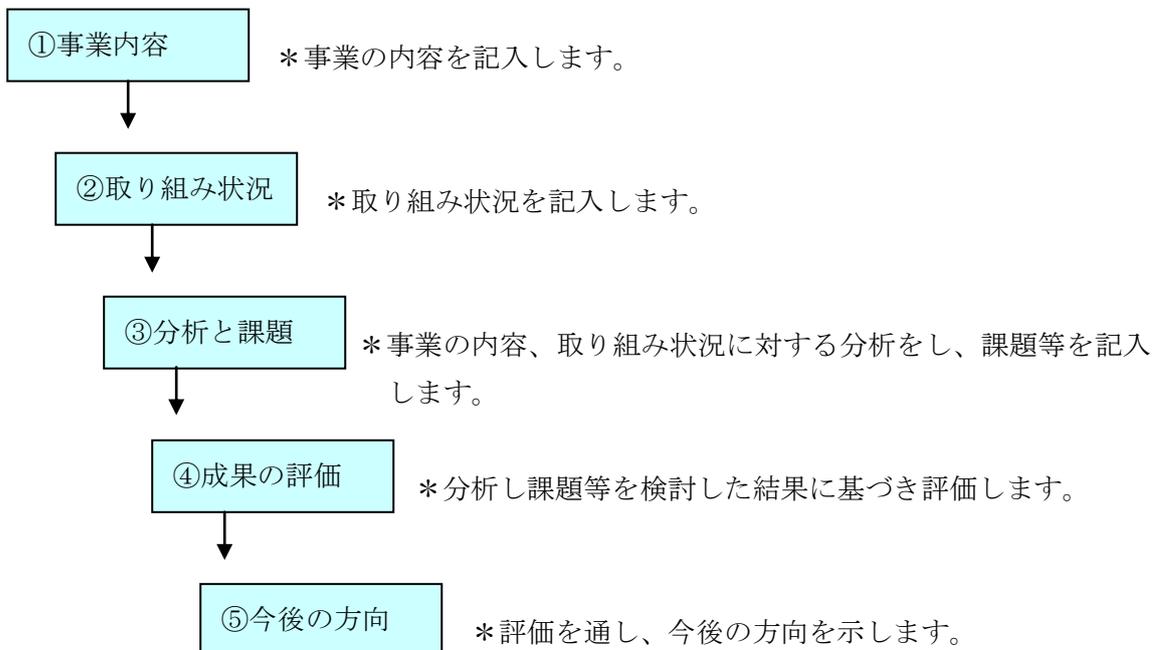
◇ 評価のスケジュール等については、次頁のとおりになります。

28年度	29年度	30年度
4月～ 平成28年度事務 の点検・評価	4月～ 平成29年度事務 の点検・評価	4月～ 平成30年度事務 の点検・評価
	28年度まとめ ↓ 外部の知見活用 報告書作成 ↓ 9月 議会への報告 〈28年度分〉	29年度まとめ ↓ 外部の知見活用 報告書作成 ↓ 9月 議会への報告 〈29年度分〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           事務・事業に反映「人事、組織の見直し」「予算計上及び削減」「事務の改善、廃止」         </div>		

### ■自己点検・評価の方法

◇ 設定した評価項目について、次のように評価します。

評価項目を設定したら、評価調書を作成します。評価の流れは、次のとおりです。



評価の方法は次のとおりです。

### 1. 事業の概要と取り組み状況

- ・予算の事業の概要を記入します。予算の事業概要の欄に記入のない場合も記載します。
- ・取り組み状況は、具体的に実施年月、参加者数、購入量等を記載します。

### 2. 成果分析と評価

- ・前年度の評価において今後すぐに取り組む事項とした内容を記載のうえ、具体的な取り組みにつながった点と内容を記載します。

また、具体的な取り組みにつながらなかった場合もその内容を記載します。  
総合評価は、以下の点等を考慮します。

- ・他自治体との比較 \*先進的な取り組みか又は他市に遅れているかなど
- ・社会の動向や市民の要求に対する分析 \*指標やアンケートなど
- ・情報公開、説明責任、環境に対する配慮など

### 3. 成果の評価

- ・分析した結果を有効性、効果性、効率性、について自己評価します。

判定の基準				
		A 前進	B 維持	C 後退
有効性		・計画通り目標が達成できたもの	維持	・目標を下回る結果に終わったもの ・目標が達成できなかったもの又は目標達成に目途が立たないもの
効果性		効果（予定通り進捗）があった	維持	効果がなかった
効率性	コスト	効率が良かった	維持	効率が悪かった
	人員	効率が良かった	維持	効率が悪かった

※「B 維持」判定は、どちらとも判断できないもの又は判定不能も含む。

### 4 今後の方向

- ・①継続 ②完了 ③拡大 ④縮小 ⑤転換 ⑥中止 の6項目で示します。
- ・項目の内容を、「すぐに取り組む事項」と「中長期的な検討課題」として具体的に記入します。

■外部評価は誰がするのか？

◇ 自己点検・評価に対する外部の知見の活用について、外部組織から委員を選任します。

- (1) 外部評価の組織の決定
- (2) 評価者の選任
- (3) 評価会議の設置・開催
- (4) 評価会議の意見書のまとめ

■報告書の作成

◇ 評価調書をまとめ外部の知見を盛り込み報告書を作成します。

■議会への報告書の提出と公表

- (1) 報告書の提出

報告書は、毎年9月議会に提出します。

- (2) 報告書の公表

報告書は、ホームページにおいても公表いたします。

■評価結果を活かすには

◇ 評価結果を事務に反映します。

- (1) 人事、組織を見直します。
- (2) 予算の計上又は削減をします。
- (3) 事務の改善、廃止をします。

◇分類表

大項目	中項目	小項目	担当課	
I 教育委員会が管理・ 執行する事務	1	教育行政の運営に関する一般方針を定めること。	(1)教育振興基本計画の策定 (2)教育要覧の作成	教育総務課
	2	教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	(1)学校の統廃合 (2)学校の適正配置 (3)公民館の設置 (4)教育機関の設置及び廃止	教育総務課 学校教育課 生涯学習課
	3	県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。		学校教育課
	4	県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。		学校教育課
	5	教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐以上の職員の任免に関すること。		教育総務課
	6	人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。		教育総務課
	7	重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。		全課
	8	教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。		教育総務課
	9	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。		全課
	10	法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。		全課
	11	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。		学校教育課
	12	児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。	(1)通学区域審議会	学校教育課
	13	教科用図書の採択に関すること。		学校教育課
	14	文化財の指定及び解除に関すること。	(1)文化財の指定 (2)文化財の指定解除	文化振興課
	15	請願、陳情、訴訟及び異議申立てに関すること。		教育総務課
	16	教育に関する表彰に関すること。	(1)教育功労	教育総務課
	17	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。		教育総務課
II 教育委員会が管理・ 執行する事務を教育 長に委任する事務	1	教育財産の管理に関すること。		全課
	2	学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。		学校教育課
	3	学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。		学校教育課
	4	教科書その他の教材の取扱いに関すること。		学校教育課
	5	校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。		教育総務課 学校教育課
	6	校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。		学校教育課
	7	学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。		全課
	8	学校給食に関すること。		学校教育課
	9	青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。		生涯学習課
	10	スポーツに関すること。		スポーツ振興課
	11	文化財の保護に関すること。		文化振興課
	12	ユネスコ活動に関すること		学校教育課
	13	教育に関する法人に関すること		教育総務課
	14	教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。		教育総務課
	15	所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。		全課
	16	前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。		全課

Ⅲ 上記に分類されない ものとして、教育委 員会自身の活動	1	教育委員会の会議	(1)教育委員会会議の開催	教育総務課
	2	教育委員の研修		教育総務課